

FutureNet AS-M250/AS-P250 シリーズ

コマンドリファレンス

Ver.2.4.0 対応版

目次

1 はじめに	6
1.1 TELNET サーバへの接続	7
1.2 コマンドの利用	8
2 ネットワーク設定	9
2.1 LAN 側 IP 設定	10
2.2 デフォルトゲートウェイ	11
2.3 スタティックルートの設定	12
2.4 ルーティングテーブル表示	13
2.5 ARP テーブルの表示	14
2.6 イーサネットエラーカウンタ表示	15
2.7 ICMP カウンタ表示	16
2.8 プロトコルエラーカウンタ表示	17
2.9 NAT	18
2.10 NAT セッションタイマの変更	20
2.11 NAT エラーカウンタ表示	21
2.12 NAT セッション表示	22
2.13 NAT セッションテーブルの消去	23
2.14 パケットフィルタ	24
2.15 GRE 設定	25
2.16 イーサネットポート状態表示	26
3 モバイル	27
3.1 接続先 APN の設定	28
3.2 PPP 接続	29
3.3 PPP 切断	30
3.4 PPP 状態の表示	31
3.5 オンデマンド接続／常時接続設定	32
3.6 WAN キープアライブ	33
3.7 オンデマンド発信のトリガパケットの扱い	34
3.8 IP 着信を行う APN の指定	35
3.9 PPP 無通信切断タイマ	36
3.10 PPP 強制切断タイマ	37
3.11 PPP 再発信待ちタイマ	38
3.12 PPP LCP-Echo によるキープアライブ	39
3.13 PPP VJ 圧縮	40
3.14 モバイル通信量カウンタ	41

3.15 モバイル通信量カウンタの初期化.....	42
3.16 モバイル通信量カウンタの表示.....	43
3.17 SMS コマンド設定.....	44
3.18 SMS の送信.....	46
3.19 アンテナログの定期出力.....	47
3.20 無線種別の選択.....	48
3.21 アンテナレベルの表示.....	49
3.22 電話番号の表示.....	50
3.23 GPS 機能の有効化.....	51
3.24 GPS 測位モード.....	52
3.25 省電力動作モード移行前に GPS 機能を停止する.....	53
3.26 測位情報表示.....	54
3.27 ダイアル連続失敗時に再起動する.....	55
3.28 圏外状態が継続したら再起動する.....	56
3.29 通信モジュール情報の表示.....	57
3.30 SIM 情報の表示.....	58
3.31 OTA 実施.....	59
3.32 通信モジュールのソフトウェア更新.....	60
3.33 通信キャリアを指定する.....	61
4 ネットワークサービス設定.....	62
4.1 TELNET サーバポート番号.....	63
4.2 TELNET 無通信切断タイマ.....	64
4.3 TELNET ログアウト.....	65
4.4 HTTP サーバ設定.....	66
4.5 TCP ダウンローダサーバポート番号.....	67
4.6 DHCP サーバ.....	68
4.7 DHCP 割り当て状況の表示.....	69
4.8 DHCP リース編集.....	70
4.9 DNS リレー／キャッシュサーバ.....	71
4.10 DNS ホストファイル設定.....	72
4.11 DNS ホストファイル表示.....	73
4.12 DNS キャッシュ TTL 調整.....	74
4.13 DNS キャッシュテーブル表示.....	75
4.14 DNS キャッシュ消去.....	76
4.15 DDNS クライアント.....	77
4.16 HTTP POST クライアント.....	78

4.17 HTTP PUT クライアント	80
4.18 HTTP GET クライアント	82
4.19 M2M クラウド設定	83
4.20 M2M クラウドへ接続	85
5 E メールによるイベント通知	86
5.1 外部 SMTP サーバの登録	87
5.2 E メール宛先登録	88
5.3 イベント設定	90
5.4 情報送信イベントの発行	91
6 シリアルポート	92
6.1 動作モード設定	93
6.2 シリアルポート通信パラメータ設定	94
6.3 シリアル/IP 変換機能	95
6.4 TCP トランスペアレントモード	97
6.5 UDP トランスペアレントモード	99
6.6 COM リダイレクトモード	100
6.7 MODBUS 機能設定	101
6.8 シリアルポート状態表示	102
6.9 HTTP 変換モード	103
6.10 SSL トランスペアレントモード	105
7 接点の監視と制御	106
7.1 入力接点の設定	107
7.2 出力接点の設定	108
7.3 出力接点の制御	109
7.4 接点状態の表示	110
7.5 仮想接点出力の設定	111
8 省電力動作モード	112
8.1 省電力動作モード移行設定	113
8.2 省電力動作モードから DI 信号入力で復帰させる	114
8.3 強制的に省電力動作モードへ移行する	115
9 ファイルの表示と操作	116
9.1 設定ファイルの保存	117
9.2 技術サポート情報の保存	118
9.3 ファイルの削除	119
9.4 ファイル一覧表示	120
9.5 ファイル内容表示	121

9.6 パケットキャプチャの実行	122
9.7 パケットキャプチャ状態の表示	123
9.8 ファイルの MD5 ハッシュ計算	124
10 運用・管理機能	125
10.1 ログインパスワードの変更	126
10.2 技術サポート情報の表示	127
10.3 装置情報の表示	128
10.4 設定を保存して再起動	129
10.5 再起動	130
10.6 定期再起動	131
10.7 RTC 時刻設定	132
10.8 時刻表示	133
10.9 稼働時間表示	134
10.10 モバイル時刻同期	135
10.11 タイムゾーン	136
10.12 スケジュール	137
10.13 備考文字列の入力	139
10.14 FLASH メモリ上の設定データの初期化	140
10.15 設定データを表示する	141
10.16 ログの表示	142
10.17 ログの消去	143
10.18 システムエラーログの表示	144
10.19 カウンタ/ログ/設定データの初期化	145
10.20 オープンソースソフトウェアライセンスの表示	146
10.21 SYSLOG 転送	147
10.22 ファームウェアの更新	148
10.23 Wake on LAN マジックパケットの送信	149
10.24 Wake on LAN マジックパケットの再送設定	150
10.25 ping 実行	151
10.26 名前解決	152
10.27 ホスト名の設定	153
10.28 テンプレート登録	154
10.29 テンプレートの置換テスト	155
10.30 スケジュール登録状況の表示	156
10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録	157
10.32 ログの出力	160

10.33 設定ファイルの一時読込	161
10.34 コマンドの遅延実行	162
11 MODBUS 機能	163
11.1 MODBUS スレーブマップ	164
11.2 MODBUS/TCP クライアント設定	165
11.3 MODBUS/TCP サーバ設定	166
11.4 MODBUS/TCP over SSL サーバ	167
11.5 MODBUS レスポンス遅延	168
11.6 MODBUS レスポンスタイマ	169
11.7 MODBUS クエリー発行	170
11.8 診断リクエスト	171
11.9 MODBUS レジスタマップ	172
12 電源監視機能	174
12.1 外部電源監視設定	175
12.2 バッテリー電源監視設定	176
12.3 電源電圧表示	177
13 データ記録	178
13.1 データ定義	179
13.2 データレコード生成	180
13.3 データ表示	181
14 付録	182
14.1 SMS コマンド仕様	183
14.2 イベントメールデフォルト件名	188
14.3 イベントメール本文	189
14.4 RAM ディスク	191
14.5 ファイル作成	192
14.6 アンテナログの出力形式	193
14.7 OTA 実施	194
14.8 省電力動作モード	196
14.9 テンプレートの利用	197
14.10 ダイナミック DNS	198
14.11 MODBUS 実装仕様	199
14.12 MODBUS レジスタ	200
14.13 バッテリー容量レベル	202
14.14 置換キーワード	203

1 はじめに

本書は FutureNet AS-M250/AS-P250 シリーズのコマンドリファレンスです。コマンドは装置 Telnet サーバに接続して利用できます。また Web サーバに接続して管理画面内からも利用できます。

対象機器

コマンドは AS-M250/AS-P250 シリーズ全機種で利用できます。一部機種固有のコマンドや制限事項があります。

本体機器名	説明
AS-M250/KL	KDDI LTE 対応通信モジュール搭載モデルです。
AS-M250/NL	NTT ドコモ LTE 対応通信モジュール搭載モデルです。
AS-M250/L	マルチキャリア LTE 対応通信モジュール搭載モデルです。
AS-P250/KL	KDDI LTE 対応通信モジュール搭載の防水モデルです。
AS-P250/NL	NTT ドコモ LTE 対応通信モジュール搭載の防水モデルです。

装置略称

"AS-M250"と表示した場合、"AS-M250/KL", "AS-M250/NL", "AS-M250/L"を指します。"AS-P250"と表示した場合、"AS-P250/KL", "AS-P250/NL"を指します。"AS-250"と表示した場合、全機種を対象とします。

1.1 TELNET サーバへの接続

TELNET 接続

TELNET クライアントをインストールした PC から本装置の TELNET サーバへ接続してください。本装置の LAN 側 IP アドレスのデフォルト値は"192.168.254.254"です。TELNET サーバポート番号は 23 です。

文字コードについて

一部のコマンドは日本語の入力ができます。文字コードは UTF-8 です。TELNET クライアントソフトにおいて入出力文字コードの設定を行なってください。

ログイン

TELNET サーバへ接続するとパスワードプロンプトが表示されます。パスワードを入力してログインしてください。パスワードの初期値は"system"です。

```
PC> telnet 192.168.254.254
Trying 192.168.254.254...
Connected to 192.168.254.254.
Escape character is '^]'.

Password:                                     ←パスワード待ち

FutureNet AS-M250/KL Version 2.3.0

>                                             ←コマンド入力待ち
```

ログアウト

ログアウトして TELNET を切断する場合は"quit"コマンドを入力してください。

```
> quit
Connection closed by foreign host.
PC>
```

無通信切断タイマ

ログインしてコマンドを投入しないまま 5 分が経過すると、TELNET を強制切断します。タイマ時間は設定変更できます。

関連項目

TELNET 無通信切断は「4.2 TELNET 無通信切断タイマ」を参照してください。

1.2 コマンドの利用

コマンドの種類

コマンドには次の 3 種類あります。

種別	説明
設定コマンド	装置の設定を変更するコマンドです。変更を反映させるには設定の保存と装置の再起動が必要です。
制御コマンド	装置上で何らかの機能を実行させるコマンドです。
表示コマンド	装置上の各種情報を表示させるコマンドです。

設定コマンドの反映

設定コマンドを投入した直後は変更内容は装置動作に反映されていません。設定を反映させるには設定の保存と装置の再起動が必要です。"restart"コマンドは設定を保存してから装置の再起動を行います。

関連項目

"restart"コマンドは「10.4 設定を保存して再起動」を参照してください。

2 ネットワーク設定

ネットワーク機能のコマンドについて説明します。

2.1 LAN 側 IP 設定

書式

main ip (IPADDRESS)	LAN 側 IP アドレス
main mask (NETMASK)	LAN 側ネットマスク

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
IPADDRESS	LAN 側 IP アドレス (X. X. X. X)	192.168.254.254
NETMASK	LAN 側ネットマスク (X. X. X. X)	255.255.255.0

備考

LAN 側の IP アドレスおよびネットマスクの設定を行います。

2.2 デフォルトゲートウェイ

書式

main gateway (GATEWAY)	デフォルトゲートウェイ設定
------------------------	---------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
GATEWAY	デフォルトゲートウェイ IP アドレス (X. X. X. X) "0.0.0.0"を指定すると設定を削除します。	未設定

備考

デフォルトゲートウェイの登録を行います。LAN 側のデフォルトゲートウェイを使用する場合に設定してください。モバイル側がデフォルトルートとなる場合は本コマンドでデフォルトゲートウェイをせずに domain コマンドで指定してください。

2.3 スタティックルートの設定

書式

route (ID) (DESTINATION) (GATEWAY) (METRIC)	スタティックルートの登録
route (ID) delete	スタティックルートの削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	スタティックルート登録番号 (0-29)	未登録
DESTINATION	宛先ネットワーク (X. X. X. X/X)	未登録
GATEWAY	ゲートウェイ IP アドレス (X. X. X. X)	未登録
METRIC	メトリック値 (1-15)	未登録

備考

スタティックルートの登録・削除を行います。

2.4 ルーティングテーブル表示

書式

show route	ルーティングテーブル表示
------------	--------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

ルーティングテーブルを表示します。

2.5 ARP テーブルの表示

書式

show arp	ARP テーブル表示
----------	------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

ARP テーブルを表示します。

表示例

```
> show arp
```

IP Address	Ethernet Address
192.168.254.1	: XX:XX:XX:XX:XX:XX
192.168.254.20	: XX:XX:XX:XX:XX:XX

2.6 イーサネットエラーカウンタ表示

書式

show etherr	カウンタ表示
-------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

イーサネットフレーム送受信エラーカウンタを表示します。

2.7 ICMP カウンタ表示

書式

show icmpstat	カウンタ表示
---------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

ICMP メッセージ種別ごとの送受信カウンタを表示します。

2.8 プロトコルエラーカウンタ表示

書式

show neterr	カウンタ表示
-------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

IP/TCP/UDP におけるエラーカウンタを表示します。

2.9 NAT

書式

nat (ID) (PRIVATEIP) (PROTO) (PORT) ipcp[(PORTFORWARD)]	NAT 設定行登録
nat (ID) delete	NAT 設定行削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	NAT 登録番号 (0-47)	未登録
PRIVATEIP	LAN 側 IP アドレス 単一指定 (X.X.X.X): 1つの IP を指定します。LAN 側機器の IP あるいは本装置の LAN 側 IP を指定します。 範囲指定 (X.X.X.X:X.X.X.X): 対象を始点と終点で範囲指定しま す。 "*": LAN 側すべての IP を対象とします。	未登録
PROTO	プロトコル指定 "icmp", "tcp", "udp" のいずれかです。 上記 3 つのプロトコルすべてを対象とする場合、"*" を指定しま す。 PRIVATEIP が単一指定でない場合、PROTO 値は無視します。	未登録
PORT	LAN 側装置の TCP/UDP ポート番号を指定します。 単一ポート番号指定 (1-65535) ニーマニック単一指定 (ftp, ftpdata, telnet, smtp, www, pop3, sunrpc, nntp, ntp, login, domain, route) ポート範囲指定 ("始点:終点") "*": すべてのポートを対象とします。 PRIVATEIP が単一指定でない場合、PORT 値は無視します。	未登録
PORTFORWARD	ポートフォワードの指定 WAN 側からの宛先ポート番号 (1-65535) を指定します。この番号 が LAN 側のポート (PORT) で指定した値に変換されます。 ポートフォワード指定は、PRIVATEIP, PROTO, PORT を単一指定と してください。 省略するか 0 を指定するとポート変換を行いません。	0

NAT 管理テーブル

NAT 設定は、最大 48 個からなる設定行を持つテーブルです。設定行が 1 つも登録されていない場合、NAT 変換処理を行いません。変換対象の IP パケットは、NAT 管理テーブルの各設定行とのマッチングを行い、マッチした行の内容による変換処理を行います。各設定行の変換処理は、静的変換と NAPT に大別できま
す。

WAN へ送信するパケットのマッチング

WAN 側へ送信しようとするパケットについて、NAT 管理テーブルとのマッチングをおこないます。マッチングは IP パケットの送信元 IP アドレス、IP プロトコル番号、送信元ポート番号と、設定行の PRIVATEIP,PROTO,PORT を照合します。マッチングは登録番号の若い順から行い、どの行にもマッチしなかった場合はパケットを破棄します。

WAN から受信したパケットのマッチング

WAN 側から受信したパケットについては、まず既存 NAT セッションに属しているかを確認します。どのセッションにも属さない場合に NAT 管理テーブルの静的変換行とのマッチングを行います。マッチングは登録番号の若い順から行います。マッチングは IP パケットの IP プロトコル番号、送信先ポート番号と、設定行の PROTO,PORT あるいは PORTFORWARD を照合します。NAT セッションや NAT 管理テーブルにマッチしなかった WAN 受信パケットは破棄します。

静的変換

PRIVATEIP を単一指定とした設定行は、静的変換の設定となります。WAN 側へ送信するパケットの送信元 IP を本装置の WAN 側 IP アドレスに変換します。WAN 側から受信したパケットの送信先 IP アドレスを PRIVATEIP に変換します。

ポートフォワード

静的変換において、ポート番号を設定値に変換することができます。PORTFORWARD に 0 以外の値を指定すると、WAN 側へ送信するパケットの送信元ポート番号を PORTFORWARD に変換します。WAN から受信した PORTFORWARD 宛のパケットを PORT に変換します。PORTFORWARD を指定する場合は、PROTO と PORT を単一指定としてください。

NAPT

PRIVATEIP を複数指定とした場合の設定行は NAPT の設定となります。LAN 側の複数のソースを本装置の 1 つの WAN 側 IP アドレスと複数のポート番号で変換します。変換ポート番号は本装置の空きポートを自動で割り当てます。ソースと割り当てポート番号の対応は NAT セッションで管理します。NAT セッションは、WAN へ送信する際の変換時に生成します。WAN から受信したパケットは生成済み NAT セッションにマッチする場合には変換し LAN へ転送します。

NAT セッション

NAT セッションは NAPT 変換情報を管理するために動的に生成されます。LAN 側からセッションを開始するときに生成され、セッション無通信検出時に削除されます。セッションとは、TCP コネクションや、UDP による要求/応答などの一連のパケットの流れです。現在生成されている NAT セッションを表示したり、NAT セッションの無通信タイマを設定することができます。

関連項目

NAT セッションタイマの変更は「2.10 NAT セッションタイマの変更」を参照してください。
NAT セッションの表示は「2.12 NAT セッション表示」を参照してください。

2.10 NAT セッションタイムの変更

書式

natsession tcp inactivitytimer (TIMER)	NAT セッションタイム設定
--	----------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	TCP セッションの無通信タイマ (60-18000 秒)	900

備考

NAT セッションは、一定時間使用されない場合に削除します。本コマンドでは TCP についてのセッションタイムを変更できます。UDP や ICMP については変更できません(60 秒固定)。

関連項目

現在の NAT セッション確認は「2.12 NAT セッション表示」を参照してください。

2.11 NAT エラーカウンタ表示

書式

show naterr	カウンタ表示
-------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

NAT 処理におけるエラーカウンタを表示します。

2.12 NAT セッション表示

書式

show natsession	セッション一覧表示
-----------------	-----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

NAT セッションの一覧を表示します。各セッション毎の内容はアドレスペア、TTL(セッション残り時間)、送受信カウント数です。

2.13 NAT セッションテーブルの消去

書式

natsession clear	NAT セッションテーブル消去
------------------	-----------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

NAT セッションテーブル上の全セッションを強制削除します。

関連項目

現在の NAT セッション確認は「2.12 NAT セッション表示」を参照してください。

2.14 パケットフィルタ

書式

filter (ID) (ACT) (DIR) (SIP) (DIP) (PROTO) (SPORT) (DPORT) ppp1	フィルタ登録
filter (ID) delete	フィルタ削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	フィルタ登録番号 (0-31)	未登録
ACT	"pass": 一致すれば通す。 "reject": 一致すれば破棄する。	未登録
DIR	"in": 受信パケット "out": 送信パケット	未登録
SIP	送信元 IP アドレス "X.X.X.X/32": アドレス単一指定。マスクビット数は 32 としてください。 "X.X.X.X-X.X.X.X": アドレス範囲指定。 "*": すべての IP を対象とします。	未登録
DIP	送信先 IP アドレス。書式は送信元 IP アドレスと同様です。	未登録
PROTO	IP プロトコル番号 (1-255) "*" を指定するとすべてのプロトコルを対象とします。	未登録
SPORT	送信元ポート番号 (1-65535) "*" を指定するとすべてのポート番号を対象とします。 "(開始番号)-(終了番号)" で範囲指定ができます。(例: 1000-2000)	未登録
DPORT	送信先ポート番号。書式は送信元ポート番号と同様です。	未登録

2.15 GRE 設定

書式

interface (DOMAINID) (CONF) [(PEERIP)]	GRE/NAT 選択
--	------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4)	
CONF	"nat": この接続先について NAT を利用する。 "gre": この接続先について GRE を利用する。	nat
PEERIP	GRE 対向 IP (X. X. X. X) GRE を選択した場合、GRE トンネリングの対向 IP アドレスを指定してください。	

2.16 イーサネットポート状態表示

書式

show ethport	ポート状態表示
--------------	---------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

イーサネットポートのリンク状態、MDI 識別状態、動作モードを表示します。

表示例

```
> show ethport
Port Link      MDI/X Operation
  1 Up         MDI-X 100BaseT-Full
```

3 モバイル

モバイル通信に関するコマンドについて説明します。

3.1 接続先 APN の設定

書式

domain (DOMAINID) (APN) (USER) (PASS) (DEST) (WANIP)	接続先登録
domain (DOMAINID) pdptype (PDPTYPE)	PDP タイプの指定
domain (DOMAINID) pppauth (PPPAUTH)	PPP 認証プロトコルの指定
domain (DOMAINID) delete	接続先削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4)	未登録
APN	接続先 APN。32 文字まで (半角英数字およびピリオド、ハイフン)	未登録
USER	認証ユーザ ID。65 文字まで (半角英数字記号) 省略できる場合は "" を指定してください	未登録
PASS	認証パスワード。32 文字まで (半角英数字記号) 省略できる場合は "" を指定してください	未登録
DEST	宛先ネットワーク (X.X.X.X/X) この接続先をデフォルトとする場合は "0.0.0.0/0" と入力してください。	未登録
WANIP	WAN 側 IP アドレス (X.X.X.X) IPCP によるローカル IP 交渉値です。多くの場合 "0.0.0.0" を指定します。あらかじめ割り当てられている IP アドレスを IPCP で相手 PPP に伝える場合には、その IP アドレスを指定します。	未登録
PDPTYPE	"ip": PDP タイプを IP とする。 "ppp": PDP タイプを PPP とする。 PDP タイプの指定は、AS-M250/KL, AS-P250/KL では利用できません。	ip
PPPAUTH	"auto": PPP 認証を PAP または CHAP で行う。 "pap": PPP 認証を PAP で行う。 "chap": PPP 認証を CHAP で行う。	auto

3.2 PPP 接続

書式

connect[(DOMAINID)]	PPP 接続実行
----------------------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4) 省略時は、番号 0 を指定したことになります。

備考

指定した接続先へダイヤルし PPP 接続を行います。本コマンドはオンデマンド接続設定時に利用できます。常時接続設定時には利用できません。

実行例

```
> connect
Dialing...
Dialing succeeded
Authentication succeeded
Connection established
>
```

関連項目

オンデマンド接続設定は「3.5 オンデマンド接続／常時接続設定」を参照してください。

3.3 PPP 切断

書式

disconnect	PPP 切断実行
------------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

PPP を切断します。

3.4 PPP 状態の表示

書式

show pppstat	状態表示
show pppframe	フレームカウント表示

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

3.5 オンデマンド接続／常時接続設定

書式

alwaysonconnect activate (FLAG)	オンデマンド接続／常時接続
alwaysonconnect domainname (DOMAINNAME)	常時接続時の接続先

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": オンデマンド接続 "on": 常時接続	off
DOMAINNAME	接続先 APN 名またはドメイン名	未設定

備考

オンデマンド接続か、常時接続かを選択します。常時接続の場合、接続先 APN 名(ドメイン名)を必ず指定してください。

関連項目

接続先設定は「3.1 接続先 APN の設定」を参照してください。

3.6 WAN キープアライブ

書式

domain (DOMAINID) keepalive host (DEST) [(COUNT) [(INTERVAL)]]	キープアライブ設定
domain (DOMAINID) keepalive onfailure (ACTION)	キープアライブ失敗動作

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4)	未登録
DEST	PING 送信先ホストの IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN "0.0.0.0" を指定した場合、この接続先についての WAN キープアライブの設定を削除します。	未登録
COUNT	失敗判定回数 (0-30) 連続して指定回数応答がない場合に失敗と判定します。0 を指定すると失敗判定せずに ping を送信し続けます。	3
INTERVAL	送信間隔 (1-60 秒)	3
ACTION	"none": 何もしない "restart": 通信モジュールの電源を切ってから再起動する。 "notify": 通知する。別途メール通知や SMS 通知の設定が必要です。	none

備考

指定ホストへ PING を送信し続け、到達性異常を検出する機能です。

関連項目

接続先設定は「3.1 接続先 APN の設定」を参照してください。

3.7 オンデマンド発信のトリガパケットの扱い

書式

main packetforwarding (FLAG)	機能フラグ
------------------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 破棄する。 "on": 保持する。	off

備考

オンデマンド発信のトリガとなったパケットを破棄するか、保持するかを選択します。保持する場合、10パケットまで保持し PPP 接続確立後に送信します。

3.8 IP 着信を行う APN の指定

書式

ipdialin (DOMAINID) (FLAG)	接続先指定
----------------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/NL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	IP 着信を行う接続先登録番号 (0-4)	未登録
FLAG	"off": IP 着信を行わない。 "on": IP 着信を行う。	off

備考

AS-M250/NL, AS-P250/NL 専用コマンドです。IP 着信で接続する APN を指定してください。他の機種における IP 着信は、網側からの着信時に APN を指示されるため事前の指定は不要です。

関連項目

接続先設定は「3.1 接続先 APN の設定」を参照してください。

3.9 PPP 無通信切断タイマ

書式

rsport 0 inactivitytimer (TIMER)	無通信切断タイマ
rsport 0 downpacketmonitor (DOWN)	下り方向の無通信監視
rsport 0 uppacketmonitor (UP)	上り方向の無通信監視

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	無通信切断タイマ (0-99999999 秒) 0 を指定するとタイマは働きません。	30
DOWN	"off": 下り方向監視をしない。 "on": 下り方向監視をする。	off
UP	"off": 上り方向監視をしない。 "on": 上り方向監視をする。	on

備考

無通信状態が継続した場合、PPP を切断します。デフォルト設定では、WAN 向けの送信がない状態のみを監視します。WAN からの受信があっても無通信タイマは止まりません。

備考 2

無通信状態の判定は IP 層で行います。下位層通信 (PPP LCPEcho など) では無通信タイマは止まりません。

3.10 PPP 強制切断タイマ

書式

rsport 0 forcedtimeout (TIMER)	強制切断タイマ
--------------------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	タイマ (0-86400 秒) 0 を指定するとタイマは働きません。	0

備考

PPP 接続確立から、指定時間経過したら強制切断します。

3.11 PPP 再発信待ちタイマ

書式

ppp_interval (TIMER)	タイマ値指定
----------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	タイマ (0-1000 秒)	10

備考

PPP 切断直後の発信抑制タイマです。切断してから指定した秒数の間、発信および着信しません。

3.12 PPP LCP-Echo によるキープアライブ

書式

rsport 0 lcpkeepalive (FLAG)	機能フラグ
rsport 0 lcpkeepaliveinterval (INTERVAL)	送信間隔
rsport 0 lcpkeepaliveretry (COUNT)	失敗判定回数

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 無効にする。 "on": 有効にする。	off
INTERVAL	送信間隔(1-60 秒)	10
COUNT	失敗判定回数(1-10)	5

備考

LCP-Echo の応答がない状況が連続した場合に PPP を強制切断します。

備考 2

AS-M250/NL, AS-P250/NL では"FLAG"の指定に関わらず常に有効となります。

3.13 PPP VJ 圧縮

書式

vjcompression activate (FLAG)	機能フラグ
-------------------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": VJ 圧縮しない。 "on": VJ 圧縮する。	on

備考

"on"の場合 IPCP で VJ 圧縮の交渉を行います。

3.14 モバイル通信量カウンタ

書式

wancounter resetdate (DATE)	カウンタ初期化日
wancounter thresh (KBYTES)	通信量しきい値

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
DATE	日 (1-31) または 0 月に 1 回、カウンタを初期化する日を指定します。0 を指定するとカウンタを稼働させません。 初期化の実行は 0 時 0 分に行います。	0
KBYTES	しきい値 (0-1000000000)。キロバイト単位で指定します。 0 を指定するとしきい値超えの通知を行いません。	0

備考

カウント値と実際の通信量は異なる場合があります。使用量の目安として参考にとどめてください。

3.15 モバイル通信量カウンタの初期化

書式

wancounter reset	カウンタ初期化
------------------	---------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

現在保持しているカウンタを 0 にしてカウントを再開します。

3.16 モバイル通信量カウンタの表示

書式

show wancounter	カウンタ表示
-----------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

> show wancounter wancounter is not started.	カウンタ停止時の表示
> show wancounter rx: 764 kbytes tx: 114 kbytes counting period from 14/10/29 to 14/10/31	カウンタ稼働時の表示

3.17 SMS コマンド設定

書式

sms command (FLAG)	機能フラグ
sms sendlimit (LIMIT)	SMS 送信数上限
sms peer (ID) (PHONENUMBER) (RESULT)	SMS 相手番号の登録
sms peer (ID) doctl (DOCTL)	SMS による接点制御の許可
sms peer (ID) notify (EVENT) (EVENTFLAG)	SMS によるイベント通知
sms peer (ID) delete	SMS 相手登録の削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": SMS コマンド機能を使わない。 "on": SMS コマンド機能を使う。	off
LIMIT	1 日の SMS 送信数の上限を設定します。 0 を指定すると AS-250 側での送信制限をしません。(キャリア側の送信上限を変更する機能ではありません。)	0
ID	相手登録番号 (0-4)	未登録
PHONENUMBER	相手電話番号	未登録
RESULT	"off": コマンド制御結果を通知しない。 "on": コマンド制御結果を通知する。	未登録
DOCTL	"off": SMS コマンドによる接点制御を許可しない。 "on": SMS コマンドによる接点制御を許可する。	off
EVENT	"di0on": 接点入力 0 がオンに変化。 "di0off": 接点入力 0 がオフに変化。 "di1on": 接点入力 1 がオンに変化。 "di1off": 接点入力 1 がオフに変化。 "di100on": 仮想接点入力 100 がオンに変化。 "di100off": 仮想接点入力 100 がオフに変化。 "di101on": 仮想接点入力 101 がオンに変化。 "di101off": 仮想接点入力 101 がオフに変化。 "di102on": 仮想接点入力 102 がオンに変化。 "di102off": 仮想接点入力 102 がオフに変化。 "di103on": 仮想接点入力 103 がオンに変化。 "di103off": 仮想接点入力 103 がオフに変化。 "di104on": 仮想接点入力 104 がオンに変化。 "di104off": 仮想接点入力 104 がオフに変化。	未登録

	<p>"di105on": 仮想接点入力 105 がオンに変化。</p> <p>"di105off": 仮想接点入力 105 がオフに変化。</p> <p>"di106on": 仮想接点入力 106 がオンに変化。</p> <p>"di106off": 仮想接点入力 106 がオフに変化。</p> <p>"di107on": 仮想接点入力 107 がオンに変化。</p> <p>"di107off": 仮想接点入力 107 がオフに変化。</p> <p>"wanthresh": モバイル通信量のしきい値を超えた。</p> <p>"wanreport": モバイル通信量の月次報告</p> <p>"keepalivefailure": WAN キープアライブ失敗</p>	
EVENTFLAG	<p>"off": 通知しない。</p> <p>"on": 通知する。</p>	off

備考

登録相手から SMS でコマンドを受信することができます。

関連項目

SMS コマンド書式は「14.1 SMS コマンド仕様」を参照してください。

3.18 SMS の送信

書式

sms send (PHONENUMBER) (BODY)	SMS 送信
-------------------------------	--------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/NL

値

項目	説明
PHONENUMBER	宛先電話番号
BODY	本文 半角英数字による入力は 160 文字までです。 全角文字を 1 文字でも含む場合は 70 文字までです。

備考

任意の相手に、任意のメッセージを送ることができます。

3.19 アンテナログの定期出力

書式

module logantenna (INTERVAL)	アンテナログ設定
------------------------------	----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
INTERVAL	出力間隔 (0-1440 分) 0 を指定するとログを出力しません。	30

備考

アンテナレベルなどの情報を定期的にログ出力します。

関連項目

ログ出力内容については「14.6 アンテナログの出力形式」を参照してください。

3.20 無線種別の選択

書式

module rat (RAT)	無線種別設定
------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/NL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
RAT	"3g": 3G 網 "lte": LTE 網 "auto": 自動選択	auto

3.21 アンテナレベルの表示

書式

show antenna	アンテナレベル表示
--------------	-----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例(AS-M250/KL, AS-P250/KL)

> show antenna		
Antenna	: 3	アンテナレベル
Network	: registered	網登録状態

表示例(AS-M250/NL, AS-M250/L, AS-P250/NL, LTE 接続時)

> show antenna		
Antenna	: 3	アンテナレベル
Network	: registered	網登録状態
RAT	: LTE	使用中の無線種別
FrequencyBand	: 19	使用中の周波数帯番号
Frequency	: 885 MHz	使用中の周波数(ダウンリンク)
RSSI	: -55 dBm	受信電力強度
RSRP	: -85 dBm	基準信号受信電力
RSRQ	: -9 dB	基準信号受信品質
SINR	: 5 dB	信号対干渉雑音比

表示例(AS-M250/NL, AS-M250/L, AS-P250/NL, WCDMA 接続時)

> show antenna		
Antenna	: 2	アンテナレベル
Network	: registered	網登録状態
RAT	: WCDMA	使用中の無線種別
FrequencyBand	: 1	使用中の周波数帯番号
Frequency	: 2147 MHz	使用中の周波数(ダウンリンク)
RSSI	: -83 dBm	受信電力強度
RSRP	: -85 dBm	希望波受信電力
Ec/Io	: -11 dB	希望信号電力対干渉電力比

3.22 電話番号の表示

書式

show phone	電話番号表示
------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考 1

電話番号を表示します。SIM カードが挿入されていない場合など番号取得に失敗した場合は空行を表示します。

3.23 GPS 機能の有効化

書式

module gps (FLAG)	GPS 設定
-------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 無効にする。 "on": 有効にする。	off

3.24 GPS 測位モード

書式

module gpsmode (MODE)	GPS 測位モード設定
module gpsdomain (DOMAINID)	アシスト測位の際の接続先

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-P250/KL

値

項目	説明	デフォルト値
MODE	"standalone": スタンドアロンモード "set-based": SET-BASED モード "set-assisted": SET-ASSISTED モード	standalone
DOMAINID	SET-BASED モード, SET-ASSISTED モードの packets 通信接続先登録番号	0

備考

本コマンドは、AS-M250/KL, AS-P250/KL に実装しています。

スタンドアロンモード

通信モジュールはサーバとは通信せず単独で位置測位します。パケット通信は発生しません。

SET-BASED モード

通信モジュールがサーバから取得する衛星情報を補助的に利用して測位します。有効な GPS 情報がモジュール内部に保持されていない場合にパケット通信が発生します。

SET-ASSISTED モード

通信モジュールが捕捉した GPS 情報をサーバに送信しサーバで測位を行います。測位にはパケット通信を伴います。

連続測位

GPS 機能を有効にした状態では測位処理を繰り返しています。パケット通信を伴うモードにおいては通信も連続して発生します。

モバイル通信量カウンタ

通信モジュールが行う GPS 測位関連のパケット通信は、本機の「モバイル通信量カウンタ」ではカウントされません。

関連項目

モバイル通信量カウンタは「3.14 モバイル通信量カウンタ」を参照してください。

3.25 省電力動作モード移行前に GPS 機能を停止する

書式

module gspowersaving (FLAG)	機能スイッチ
-----------------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-P250/KL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 省電力動作モード移行前に GPS 機能を停止しない。 "on": 省電力動作モード移行前に GPS 機能を停止する。	off

備考

省電力動作モードへ移行する前に GPS 機能を停止するかどうかを設定します。本コマンドは AS-M250/KL, A-P250/KL に実装しています。スタンドアロンモード、SET-BASED モードにおいて利用できます。SET-ASSISTED モードおよび他の GPS 搭載機種では省電力動作モード中は GPS 機能は停止しています。

3.26 測位情報表示

書式

show gps	位置表示
----------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

> show gps	
+35. 702093, +139. 545902	(緯度), (経度)
> show gps	
,	測位できない場合の表示

3.27 ダイアル連続失敗時に再起動する

書式

module dialfailrestart (FLAG) [(COUNT)]	ダイアル失敗判定
module ipupfailrestart (FLAG) [(COUNT)]	IPCP 確立失敗判定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 無効にする。 "on": 有効にする。	on
COUNT	失敗判定回数 (1-30)	10

備考

ダイアル失敗は、ダイアルしてから一定時間内に"CONNECT"リザルトを受信できなかった場合です。IPCP 確立失敗は、ダイアル成功後一定時間内に IPCP が確立しなかった場合です。失敗が連続して指定回数に達した場合、通信モジュールの電源を切ってから再起動します。

3.28 圏外状態が継続したら再起動する

書式

oosreset activate (FLAG)	機能フラグ
oosreset time (TIMER)	タイマ値設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 無効にする。 "on": 有効にする。	off
TIMER	タイマ値(1-10 分)	3

備考

圏外状態が指定時間継続した場合に、通信モジュールの電源を切ってから再起動します。

3.29 通信モジュール情報の表示

書式

show module	通信モジュール情報表示
-------------	-------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

> show module	
ProductName : KYM12	通信モジュール製品名
Manufacturer : KYOCERA CORPORATION	メーカー名
ProductNumber : XXXXXXXXXXXXXXXX	製造番号
ProductVersion : XXXXXX	製品バージョン

備考

搭載する通信モジュールの固有情報を表示します。

3.30 SIM 情報の表示

書式

show module sim	SIM 情報表示
-----------------	----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-P250/KL

表示例

> show module sim		
SIM	: External	内蔵 SIM か外付け SIM か
ICCID	: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	SIM の ICCID
ROM	: Black	黒 ROM か灰ロムか

備考

現在使用中の SIM 情報を表示します。

3.31 OTA 実施

書式

ota sp	OTASP 実施
--------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-P250/KL

備考

本コマンドは KDDI 通信モジュールにおける OTA の実施コマンドです。

関連項目

OTA 実施は「14.7 OTA 実施」を参照してください。

SIM 情報の確認は「3.30 SIM 情報の表示」を参照してください。

3.32 通信モジュールのソフトウェア更新

書式

module update start	更新開始
---------------------	------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-P250/KL

備考

搭載する通信モジュールのソフトウェア更新を網経由で行います。実施には事前に申込みが必要です。

3.33 通信キャリアを指定する

書式

module carrier (CARRIERNAME)	通信キャリアの指定
------------------------------	-----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/L

値

項目	説明	デフォルト値
CARRIERNAME	"docomo": NTT ドコモ "kddi": KDDI "softbank": ソフトバンク "kddi mvno": KDDI 網を使用する MVNO	docomo

備考

本コマンドは AS-M250/L にのみ使用できるコマンドです。使用する SIM に応じて本コマンドで通信キャリアの指定を行ってください。

4 ネットワークサービス設定

本装置で稼働するネットワークサービスのコマンドについて説明します。

4.1 TELNET サーバポート番号

書式

telnet-server port (PORT)	ポート番号指定
---------------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
PORT	Telnet サーバポート番号 (1-65535)	23

備考

他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

4.2 TELNET 無通信切断タイマ

書式

flag menutimeout (TIMER)	タイマ値設定
--------------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	無通信切断タイマ (0, 60-99999999 秒) 0 を指定すると、無通信切断を行わない。	300

4.3 TELNET ログアウト

書式

quit	ログアウト
------	-------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

ログアウトして、TELNET を切断します。

4.4 HTTP サーバ設定

書式

http-server port (HTTP_PORT)	HTTP ポート番号指定
http-server httpsport (HTTPS_PORT)	HTTPS ポート番号指定
http-server https (HTTPS_FLAG)	HTTPS 有効/無効

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
HTTP_PORT	HTTP サーバポート番号 (1-65535)	80
HTTPS_PORT	HTTPS サーバポート番号 (1-65535)	443
HTTPS_FLAG	"enable": HTTPS サーバ有効 (HTTP サーバ無効) "disable": HTTPS サーバ無効 (HTTP サーバ有効)	disable

備考

指定したポート番号が他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

備考 2

HTTP サーバと HTTPS サーバは排他起動です。

4.5 TCP ダウンローダサーバポート番号

書式

tcpdwl-server port (PORT)	ポート番号指定
---------------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
PORT	TCP ダウンローダサーバポート番号 (1-65535)	2222

備考

他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

4.6 DHCP サーバ

書式

dhcp activate (FLAG)	DHCP サーバ機能フラグ
dhcp startip (STARTIP)	リース開始アドレス
dhcp noofip (NOOFIP)	リースするアドレス個数
dhcp mask (MASK)	配布ネットマスク
dhcp gateway (GATEWAY)	配布ゲートウェイ
dhcp pridns (DNSSERV)	配布 DNS サーバ IP1
dhcp secdns (DNSSERV)	配布 DNS サーバ IP2
dhcp leasetime (LEASETIME)	リース時間
dhcp wins (WINS)	配布 WINS サーバ IP

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": DHCP サーバを起動しない。 "on": DHCP サーバを起動する。	off
STARTIP	リースするアドレス範囲の開始アドレス (X. X. X. X)	未設定
NOOFIP	リースするアドレス個数 (0-128)	未設定
MASK	配布するネットマスク (X. X. X. X)	未設定
GATEWAY	配布するデフォルトゲートウェイ (X. X. X. X)	未設定
DNSSERV	配布する DNS サーバアドレス (X. X. X. X)	未設定
LEASETIME	リース時間 (0-9999 時間) 0 は無制限を示します。	24 時間
WINS	配布する WINS サーバアドレス (X. X. X. X)	未設定

4.7 DHCP 割り当て状況の表示

書式

show dhcp	DHCP 情報表示
-----------	-----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

```
> show dhcp
```

No.	MAC address	Type	IP address	Expire
1	XX:XX:XX:XX:XX:XX	dynamic	192.168.254.20	2016/01/15 13:32:41

備考

"No."は"dhcp client"コマンドで指定するクライアント登録番号(ID)です。

関連項目

"dhcp client"は「4.8 DHCP リース編集」を参照してください。

4.8 DHCP リース編集

書式

dhcp client (ID) (MAC) (IPADDRESS)	固定割り当て
dhcp client (ID) delete	割り当て削除

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
ID	クライアント登録番号 (0-127)
MAC	固定割り当てするクライアントの MAC アドレス 16 進数 12 桁 (例: 001a2b3c4d5e) またはコロン区切り 16 進数 (例: 00:1a:2b:3c:4d:5e)
IPADDRESS	固定割り当てする IP アドレス (X. X. X. X) 動的割り当て範囲 ("dhcp startip" および "dhcp noofip" で指定する範囲) のアドレスは固定割り当てできません。

備考

リース状況は "show dhcp" で確認できます。

関連項目

"show dhcp" は 「4.7 DHCP 割り当て状況の表示」 を参照してください。

4.9 DNS リレー／キャッシュサーバ

書式

dnsrelay activate (FLAG)	サーバ機能フラグ
dnsrelay serverpolicy (POLICY)	DNS サーバ選択
dnsrelay primarydns (DNSSERV)	プライマリサーバ指定
dnsrelay secondarydns (DNSSERV)	セカンダリサーバ指定
dnsrelay serverdomain (DOMAIN)	サーバに到達可能な接続先
dnsrelay clear serverdomain	接続先指定の取り消し

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	<p>"off": DNS リレー／キャッシュサーバを無効にします。</p> <p>"on": DNS リレー／キャッシュサーバを有効にします。</p>	off
POLICY	<p>"ipcp": PPP IPCP で取得した DNS サーバを利用します。</p> <p>"config": コマンドで指定したサーバを利用します。</p>	ipcp
DNSSERV	<p>DNS サーバアドレス (X. X. X. X)</p> <p>POLICY で "config" を選択した場合に利用する DNS サーバを指定してください。</p>	未登録
DOMAIN	<p>APN またはドメイン名</p> <p>DNS サーバに到達可能な接続先を指定します。指定しない場合は、接続先テーブルに登録されているエントリのうち、宛先ネットワークが "0.0.0.0/0" のものを選択します。</p>	未登録

4.10 DNS ホストファイル設定

書式

hostfile (ID) (HOSTNAME) (IPADDRESS)	ホスト登録
hostfile (ID) delete	ホスト削除
dnscache hostttl (TTL)	ホストファイル TTL 設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	ホスト登録番号 (0-9)	未登録
HOSTNAME	ホスト名 (255 文字まで)	未登録
IPADDRESS	IP アドレス (X. X. X. X)	未登録
TTL	TTL 値 (120-2419200 秒) ホストファイル登録エントリに対する TTL 値	3600

備考

DNS リレー/キャッシュサーバに静的エントリを登録できます。

4.11 DNS ホストファイル表示

書式

show hostfile	ホストファイル表示
---------------	-----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

登録されているホストファイル情報を表示します。

関連項目

ホストファイル登録は「4.10 DNS ホストファイル設定」を参照してください。

4.12 DNS キャッシュ TTL 調整

書式

<code>dnscache ttlmanualmode (TTLMODE)</code>	TTL 値調整を行うかどうか
<code>dnscache ttlsetting (TTLMIN) (TTLMAX)</code>	TTL 値調整の下限と上限

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TTLMODE	"off": TTL 値調整を行いません。 "on": TTL 値調整を行います。	off
TTLMIN	調整下限値 (120-2419200 秒) 応答内の TTL が下限値より小さい場合、下限値で置き換えます。	900
TTLMAX	調整上限値 (120-2419200 秒) 応答内の TTL が上限値より大きい場合、上限値で置き換えます。	3600

備考

リレーする DNS 応答の TTL 値を書き換える機能です。

4.13 DNS キャッシュテーブル表示

書式

show dnscache	DNS キャッシュテーブル表示
---------------	-----------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

```
> show dnscache
Domain Name          TTL  QTYPE  QCLASS
example.domain      51899    1      1
sample.info         3290     1      1
```

4.14 DNS キャッシュ消去

書式

dnscache clear	DNS キャッシュ消去
----------------	-------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

DNS キャッシュテーブル登録内容を消去します。

4.15 DDNS クライアント

書式

ddns activate (FLAG)	機能フラグ
ddns userid (USER)	ユーザ ID 設定
ddns password (PASS)	パスワード設定
ddns domain (DOMAINID)	対象とする接続先の指定
ddns periodic (PERIODIC)	周期送信設定
ddns firmupdate (FIRMUPDATE)	自動ファームウェア更新設定
ddns regip (REGIP)	登録 IP 設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": DDNS クライアントを起動しない。 "on": DDNS クライアントを起動する。	off
USER	DDNS サービスのユーザ ID (64 文字まで) "" を指定すると設定を削除します。	未設定
PASS	DDNS サービスのパスワード (64 文字まで) "" を指定すると設定を削除します。	未設定
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4) DDNS サービスの対象とする接続先を指定してください。	0
PERIODIC	"off": PPP 接続後 1 回のみ送信する。 "on": PPP 接続中は周期的に送信する。	off
FIRMUPDATE	"off": DDNS サーバからファームウェア更新通知を受けてもファームウェア更新を行わない。 "on": DDNS サーバからファームウェア更新通知を受けたらファームウェア更新を行う。	on
REGIP	"srcip": DDNS サーバが受信した本機からの IP パケットのソースアドレスを登録します。 "ipcp": PPP IPCP ローカルアドレスを登録します。DDNS サーバに対して送信するリクエスト内に登録 IP を明示します。	srcip

備考

WarpLink DDNS サービス利用設定を行います。サービスの利用には申込みが必要です。

関連項目

ダイナミック DNS は「14.10 ダイナミック DNS」を参照してください。

4.16 HTTP POST クライアント

書式

wpost (URL) (AUTH) template:(TEMPLATEID) [, (CONTENTTYPE)][(COUNT) [(INTERVAL)]]	HTTP POST 送信(テンプレート)
wpost (URL) (AUTH) (DISK):(FILENAME) [, (CONTENTTYPE)][(COUNT) [(INTERVAL)]]	HTTP POST 送信(ファイル)

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
URL	POST 先 URL (255 文字まで) "http://”または”https://”で始まる文字列を指定してください。その他のスキームには対応していません。
AUTH	認証指定文字列 "none": 認証なし "basic:(ユーザ名):(パスワード)": BASIC 認証ヘッダを付加します。
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9) 登録済みテンプレートの置換内容を本文として送信します。
DISK	"ramdisk": RAM ディスク
FILENAME	ファイル名 ファイル内容を本文として送信します。
CONTENTTYPE	コンテンツタイプ 指定文字列をリクエストヘッダ"Content-Type"として送信します。 省略した場合で本文がテキストの場合は"text/plain"となります。 省略した場合で本文がバイナリの場合は"application/octet-stream"となります。
COUNT	再送回数 (0-999) 省略時または 0 を指定した場合は再送をしません。
INTERVAL	再送間隔 (1-60 秒) 省略時は 10 秒となります。

備考

外部 HTTP サーバへ HTTP POST リクエストを送信します。リクエスト本文には、テンプレートまたはファイルを指定できます。

レスポンス待ち

レスポンス待ち時間は 30 秒です。

再送について

外部 HTTP サーバへの接続ができない場合、接続できてもレスポンスが返らない場合、レスポンスのステータスエラー時は、リクエストを再送します。

省電力動作移行タイマ

レスポンス待ちおよび再送中の時は、省電力動作へ移行しません。

実行例

```
> wpost http://www.example.server/post basic:user:pass ramdisk:CURRENT.LOG  
> wpost http://192.168.254.100:8080/data none template:0,application/json 3 3
```

関連項目

テンプレートは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

4.17 HTTP PUT クライアント

書式

wput (URL) (AUTH) template:(TEMPLATEID) [, (CONTENTTYPE)][(COUNT) [(INTERVAL)]]	HTTP PUT 送信(テンプレート)
wput (URL) (AUTH) (DISK):(FILENAME) [, (CONTENTTYPE)][(COUNT) [(INTERVAL)]]	HTTP PUT 送信(ファイル)

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
URL	PUT 先 URL (255 文字まで) "http://”または”https://”で始まる文字列を指定してください。その他のスキームには対応していません。
AUTH	認証指定文字列 "none": 認証なし "basic:(ユーザ名):(パスワード)": BASIC 認証ヘッダを付加します。
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9) 登録済みテンプレートの置換内容を本文として送信します。
DISK	"ramdisk": RAM ディスク
FILENAME	ファイル名 ファイル内容を本文として送信します。
CONTENTTYPE	コンテンツタイプ 指定文字列をリクエストヘッダ"Content-Type"として送信します。 省略した場合で本文がテキストの場合は"text/plain"となります。 省略した場合で本文がバイナリの場合は"application/octet-stream"となります。
COUNT	再送回数 (0-999) 省略時または 0 を指定した場合は再送をしません。
INTERVAL	再送間隔 (1-60 秒) 省略時は 10 秒となります。

備考

外部 HTTP サーバへ HTTP PUT リクエストを送信します。リクエスト本文には、テンプレートまたはファイルを指定できません。

レスポンス待ち

レスポンス待ち時間は 30 秒です。

再送について

外部 HTTP サーバへの接続ができない場合、接続できてもレスポンスが返らない場合、レスポンスのステータスエラー時は、リクエストを再送します。

省電力動作移行タイマ

レスポンス待ちおよび再送中の時は、省電力動作へ移行しません。

関連項目

テンプレートは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

4.19 M2M クラウド設定

書式

m2mcloud termid[(TERMID)]	端末 ID の登録
m2mcloud userid[(USERID)]	ユーザ ID の登録
m2mcloud password[(PASSWORD)]	パスワードの登録
m2mcloud connecttrigger (TRIGGER)	接続トリガ設定
m2mcloud inactivitytimer (TIMER)	無通信切断タイマ設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TERMID	端末 ID 文字列 (1-32 文字) 省略すると登録削除します。	未登録
USERID	ユーザ ID 文字列 (1-64 文字) ユーザ ID を登録すると、リクエストに BASIC 認証ヘッダを付加します。 省略すると登録削除します。	未登録
PASSWORD	パスワード文字列 (1-64 文字) BASIC 認証パスワードです。ユーザ ID とともに設定してください。 省略すると登録削除します。	未登録
TRIGGER	"off": 自動接続しない。 "always": 常時接続する。 "datain": データレコード生成時に接続する。	off
TIMER	無通信切断タイマ (0-600 秒) 0 を設定すると無通信切断を行いません。	0

備考

WarpLink M2M クラウドサービスへ接続する設定を行います。本装置は M2M クラウドサービスにおける「データリンク端末」となります。

通信方法

本装置は、M2M クラウドとは Websocket で通信を行います。サービス側のデータリンク設定画面において通信方法「WEBSOCKET で端末とサーバ間を通信する」を選択してください。

端末 ID

M2M クラウドサービスを利用する場合はサービス側から発行される端末 ID が必要です。本装置に対応する端末 ID を上記コマンドで登録してください。端末 ID はサービス側データリンク設定画面に表示されます。

認証

サービス側データリンク設定画面において認証方法「Basic 認証」を選択した場合は、そのユーザ ID とパスワードを上記コマンドで登録してください。

データ形式

Websocket 上で送受信するデータ形式は「標準 JSON フォーマット」です。サービス側データリンク設定画面においてデータ解析方法「標準 JSON フォーマット」を選択してください。

計測データ

M2M クラウドでは複数フィールドからなるデータレコードを時系列で蓄積します。本装置においては、"data field"コマンドでフィールドの定義を行います。コマンド"data record"を実行するとデータレコードを生成します。Websocket 接続中は、生成したレコードは直ちに M2M クラウドへ送信します。Websocket 切断中は、生成レコードは本機メモリに蓄積し、次回接続時に送信します。

接続トリガ

Websocket の接続トリガを選択できます。コマンド"m2mcloud connect"によって接続する場合は接続トリガを"off"にしてください。サーバ契機のリクエストを待ち受ける場合は"always"を選択してください。

関連項目

コマンドによる Websocket 接続は「4.20 M2M クラウドへ接続」を参照してください。

"data field"コマンドは「13.1 データ定義」を参照してください。

"data record"コマンドは「13.2 データレコード生成」を参照してください。

4.20 M2M クラウドへ接続

書式

m2mcloud connect	m2mcloud 接続
m2mcloud disconnect	m2mcloud 切断

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

WarpLink M2M クラウドサービスとの間の接続/切断を行います。

接続

コマンド"m2mcloud connect"により明示的に接続を指示します。本コマンド以外の接続方法として、コマンド"m2mcloud connecttrigger"による自動接続を選択することもできます。

切断

コマンド"m2mcloud disconnect"により明示的に切断を指示します。本コマンド以外の切断方法として、コマンド"m2mcloud inactivitytimer"による自動切断を選択することもできます。

関連項目

自動接続／自動切断は「4.19 M2M クラウド設定」を参照してください。

5 Eメールによるイベント通知

本装置で発生する各種イベントをEメールで通知するための設定マンドについて説明します。

5.1 外部 SMTP サーバの登録

書式

mail server (SERVERID) smtp (SMTPSERVER) [(SMTPPORT)]	SMTP サーバ追加
mail server (SERVERID) auth (AUTHTYPE) [(USER) (PASS)]	SMTP サーバ認証設定
mail server (SERVERID) pop [(POPSERVER) [(POPPORT)]]	POP サーバ設定
mail server (SERVERID) fromaddress [(MAILADDRESS)]	送信元メールアドレス設定
mail server (SERVERID) ssl (SSLFLAG)	SSL 利用設定
mail server (SERVERID) delete	SMTP サーバ設定削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
SERVERID	SMTP サーバ登録番号 (0-4)	未登録
SMTPSERVER	SMTP サーバ IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN (63 文字まで)	未登録
SMTPPORT	SMTP サーバポート番号 (1-65535)	25
AUTHTYPE	"none": 認証なし "popbeforesmtp": POP before SMTP "smtp": SMTP 認証	none
USER	認証ユーザ ID (63 文字まで)	未設定
PASS	認証パスワード (63 文字まで)	未設定
POPSERVER	POP サーバ IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN (63 文字まで) AUTHTYPE に "popbeforesmtp" を指定した場合に設定してください。	未設定
POPPORT	POP サーバポート番号 (1-65535) AUTHTYPE に "popbeforesmtp" を指定した場合に設定してください。	110
MAILADDRESS	送信元メールアドレス (127 文字まで)	未設定
SSLFLAG	"disable": SSL を利用しない。 "enable": SSL を利用する。	disable

備考

E メール送信時に利用する外部 SMTP サーバを登録します。

5.2 E メール宛先登録

書式

mail peer (PEERID) (MAILADDRESS)	宛先メールアドレス登録
mail peer (PEERID) notify (EVENT) (FLAG) [server (SERVERID)]	宛先とイベントの紐付け
mail peer (PEERID) delete	宛先削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
PEERID	宛先登録番号 (0-4)	未登録
MAILADDRESS	宛先メールアドレス (480 文字まで) 複数のアドレスをカンマで区切って 6 個まで入力できます。	未登録
EVENT	<p>"di0on": 接点入力 0 がオンに変化。</p> <p>"di0off": 接点入力 0 がオフに変化。</p> <p>"di1on": 接点入力 1 がオンに変化。</p> <p>"di1off": 接点入力 1 がオフに変化。</p> <p>"di100on": 仮想接点入力 100 がオンに変化。</p> <p>"di100off": 仮想接点入力 100 がオフに変化。</p> <p>"di101on": 仮想接点入力 101 がオンに変化。</p> <p>"di101off": 仮想接点入力 101 がオフに変化。</p> <p>"di102on": 仮想接点入力 102 がオンに変化。</p> <p>"di102off": 仮想接点入力 102 がオフに変化。</p> <p>"di103on": 仮想接点入力 103 がオンに変化。</p> <p>"di103off": 仮想接点入力 103 がオフに変化。</p> <p>"di104on": 仮想接点入力 104 がオンに変化。</p> <p>"di104off": 仮想接点入力 104 がオフに変化。</p> <p>"di105on": 仮想接点入力 105 がオンに変化。</p> <p>"di105off": 仮想接点入力 105 がオフに変化。</p> <p>"di106on": 仮想接点入力 106 がオンに変化。</p> <p>"di106off": 仮想接点入力 106 がオフに変化。</p> <p>"di107on": 仮想接点入力 107 がオンに変化。</p> <p>"di107off": 仮想接点入力 107 がオフに変化。</p> <p>"wanthresh": モバイル通信量のしきい値を超えた。</p> <p>"wanreport": モバイル通信量の月次報告 (カウンタ初期化日に通知)。</p> <p>"showconfig": 装置設定データの送信要求</p> <p>"showlog": ログ送信要求</p> <p>"showall": 技術サポート情報の送信要求</p>	未登録

	"keepalivefailure": WAN キープアライブに失敗 "pppconnected": PPP 接続成功	
FLAG	"off": 通知しない。 "on": 通知する。	off
SERVERID	SMTP サーバ登録番号 (0-4) イベント通知に利用する SMTP サーバを指定してください。	未指定

備考

"SERVERID"によって SMTP サーバを指定しない場合 SMTP サーバ 0 番に接続します。送信失敗時は次の番号のサーバを試行します。

関連項目

SMTP サーバ登録は「5.1 外部 SMTP サーバの登録」を参照してください。

5.3 イベント設定

書式

mail event (EVENT) subject[(SUBJECT)]	件名の設定
mail event (EVENT) message[(MESSAGE)]	本文に付加する文字列の設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
EVENT	<p>"di0on": 接点入力 0 がオンに変化。</p> <p>"di0off": 接点入力 0 がオフに変化。</p> <p>"di1on": 接点入力 1 がオンに変化。</p> <p>"di1off": 接点入力 1 がオフに変化。</p> <p>"wanthresh": モバイル通信量のしきい値を超えた。</p> <p>"wanreport": モバイル通信量の月次報告（カウンタ初期化日に通知）。</p> <p>"showconfig": 装置設定データの送信要求</p> <p>"showlog": ログ送信要求</p> <p>"showall": 技術サポート情報の送信要求</p> <p>"keepalivefailure": WAN キープアライブに失敗</p> <p>"pppconnected": PPP 接続成功</p>	未登録
SUBJECT	<p>件名 (1-127 バイト)</p> <p>UTF-8 で日本語を入力できます。すべて全角文字の場合 42 文字までとなります。</p> <p>省略するとデフォルト件名を使用します。</p> <p>"template: (テンプレート登録番号)" を指定すると、登録済みテンプレートの置換内容を件名とします。</p>	デフォルト件名
MESSAGE	<p>本文付加文字列 (1-255 バイト)</p> <p>UTF-8 で日本語を入力できます。すべて全角文字の場合 85 文字までとなります。</p> <p>"template: (テンプレート登録番号)" を指定すると、登録済みテンプレートの置換内容を本文とします。</p>	付加文字列なし

関連項目

テンプレートは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。
 デフォルト件名は「14.2 イベントメールデフォルト件名」を参照してください。
 メール本文は「14.3 イベントメール本文」を参照してください。

5.4 情報送信イベントの発行

書式

mail show (KIND)	情報送信イベント発行
------------------	------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
KIND	"config": 装置設定データの送信要求 "log": ログ送信要求 "all": 技術サポート情報の送信要求

備考

内部情報送信イベント("showconfig", "showlog", "showall")を発行します。"mail peer"コマンドで設定済みの宛先へ送信します。

関連項目

宛先登録は「5.2 Eメール宛先登録」を参照してください。
 デフォルト件名は「14.2 イベントメールデフォルト件名」を参照してください。
 メール本文は「14.3 イベントメール本文」を参照してください。

6 シリアルポート

本装置に装備するシリアルポートの利用に関するコマンドを説明します。

6.1 動作モード設定

書式

rsport 1 mode (MODE)	モード設定
----------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
MODE	"conv": シリアル/IP 変換モード "modbus-ascii": MODBUS/ASCII モード "modbus-rtu": MODBUS/RTU モード	conv

備考

シリアルポートの利用方法を選択します。

関連項目

シリアル/IP 変換モードは「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

MODBUS/ASCII,MODBUS/RTU モードは「6.7 MODBUS 機能設定」を参照してください。

6.2 シリアルポート通信パラメータ設定

書式

rsport 1 baudrate (BAUDRATE)	ボーレート
rsport 1 databits (DATABITS)	データ長
rsport 1 parity (PARITY)	パリティ
rsport 1 duplex (DUPLEX)	RS-485 全二重／半二重設定
rsport 1 terminator (TERMINATOR)	RS-485 終端抵抗設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
BAUDRATE	ボーレート (1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200, 230400, 460800bps)	230400
DATABITS	"7": 7ビット。7ビットの場合、パリティ無しは選択できません。oddかevenを選択してください。 "8": 8ビット	8
PARITY	"none": パリティなし "odd": 奇数パリティ "even": 偶数パリティ	none
DUPLEX	"full": 全二重 "half": 半二重	full
TERMINATOR	"off": 終端抵抗なし "on": 終端抵抗あり	off

備考

RSポートの通信条件を設定します。"duplex", "terminator"については、RS-485搭載機でのみ設定できます。

6.3 シリアル/IP 変換機能

書式

rsport 1 convmode (CONVMODE)	変換機能モード
rsport 1 rxidletime (RXIDLETIME)	シリアル受信データパケット化タイム
rsport 1 tcpkeepalive (ONOFF)	TCP キープアライブ有効/無効
rsport 1 tcpkeepaliveinterval (INTERVAL)	TCP キープアライブ間隔
rsport 1 tcpkeepaliveprobes (COUNT)	TCP キープアライブ回数
rsport 1 tcpkeepalivetime (TIME)	TCP キープアライブ開始時間

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
CONVMODE	"tcptransparent": TCP トランスペアレントモード "udptransparent": UDP トランスペアレントモード "redirect": COM リダイレクトサーバ "http": HTTP モード "ssltransparent": SSL トランスペアレントモード	tcptransparent
RXIDLETIME	シリアル受信データをパケット化する受信アイドル時間 (0-999 ミリ秒) 0 を設定すると随時パケット化します。	3
ONOFF	"off": TCP キープアライブを行わない。 "on": TCP キープアライブを行う。	on
INTERVAL	TCP キープアライブポーリング間隔 (1-65535 秒)	10
COUNT	TCP キープアライブ切断判定回数 (1-65535 回) ポーリング応答が指定回数連続して得られない場合、TCP を切断します。	6
TIME	TCP キープアライブ開始時間 (1-65535 秒) TCP 無通信状態が指定時間経過したら TCP キープアライブポーリングを開始します。	300

備考

シリアル/IP 変換機能についての設定を行います。

TCP キープアライブ

確立中の TCP コネクションの無通信状態時に、その接続が維持されているかを確認します。TCP キープアライブ機能は、TCP トランスペアレントモード、SSL トランスペアレントモードおよび、COM リダイレクトサーバモードで実行します。

関連項目

TCP トランスペアレントモードは「6.4 TCP トランスペアレントモード」を参照してください。

UDP トランスペアレントモードは「6.5 UDP トランスペアレントモード」を参照してください。
COM リダイレクタモードは「6.6 COM リダイレクタモード」を参照してください。
HTTP モードは「6.9 HTTP 変換モード」を参照してください。
SSL トランスペアレントモードは「6.10 SSL トランスペアレントモード」を参照してください。

6.4 TCP トランスペアレントモード

書式

rsport 1 transparent (TRANSPARENT)	トランスペアレント接続モード
rsport 1 scpcport (SCPCPORT)	サーバポート
rsport 1 connectaddress (CONNECTADDRESS)	クライアント接続先
rsport 1 connectaddress2 (CONNECTADDRESS2)	クライアント接続先 2
rsport 1 connectport (CONNECTPORT)	クライアント接続先ポート
rsport 1 connectport2 (CONNECTPORT2)	クライアント接続先 2 ポート
rsport 1 connecttrigger (CONNECTTRIGGER)	クライアント接続トリガ
rsport 1 disconnecttrigger (DISCONNECTTRIGGER)	クライアント切断トリガ
rsport 1 disconnectdelimiter (DELIMITER)	クライアント切断トリガのデリミタコード
rsport 1 senddelimiter (SENDELIMITER)	デリミタコード送信設定
rsport 1 connecttimeout (CONNECTTIMEOUT)	クライアント接続タイム
rsport 1 inactivitytimer (INACTIVITYTIMER)	TCP 無通信切断タイム
rsport 1 forcedtimeout (FORCEDTIMEOUT)	TCP 強制切断タイム
rsport closetimeout (CLOSETIMEOUT)	TCP 切断時の応答待ちタイム
rsport 1 bufferclear (BUFFERCLEAR)	TCP 未接続/接続失敗時のシリアルデータクリア

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TRANSPARENT	"server": トランスペアレントサーバ "client": トランスペアレントクライアント "servcli": サーバ&クライアント	server
SCPCPORT	TCP トランスペアレントサーバのポート番号 (2300-65535)	33337
CONNECTADDRESS	IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN (63 文字まで) TCP トランスペアレントクライアントのプライマリ接続先を設定します。	未登録
CONNECTADDRESS2	IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN (63 文字まで) TCP トランスペアレントクライアントのセカンダリ接続先を設定します。	未登録
CONNECTPORT	TCP トランスペアレントクライアントプライマリ接続先のポート番号 (1-65535)	未登録
CONNECTPORT2	TCP トランスペアレントクライアントセカンダリ接続先のポート番号 (1-65535)	未登録

CONNECTTRIGGER	トランスペアレントクライアントの TCP 接続トリガを選択します。 "datain": シリアル受信時に接続する。 "always": 常時接続する。 "oneshot": 起動時に接続する。切断された後は再起動するまで再接続しない。	datain
DISCONNECTTRIGGER	トランスペアレントクライアントの TCP 切断トリガを選択します。 "none": 切断トリガは使用しない。 "delimiter": デリミタコードを受信した時に切断する。	none
DELIMITER	デリミタコード 16 進数値 (00-ff) デリミタコードを指定します。TCP 切断トリガが "delimiter" の場合のみ使用します。	0d
SENDELIMITER	"no": デリミタコードを送信しない。 "yes": デリミタコードをデータに含めて送信する。	no
CONNECTTIMEOUT	トランスペアレントクライアント TCP 接続の際のコネクションリトライ時間 (0-60 秒) 0 の場合は、永久にリトライします。	10
INACTIVITYTIMER	TCP 無通信切断タイマ (0-99999999 秒) 0 の場合は、無通信切断をしません。	0
FORCEDTIMER	TCP 強制切断タイマ (0-99999999 秒) 0 の場合は、強制切断をしません。	0
CLOSETIMEOUT	TCP 切断後の応答待ちタイマ (0-60 秒) 0 を設定すると待ちなしで切断 (RST パケット送出) する。	10
BUFFERCLEAR	TCP 未接続時 (サーバ時) や接続に失敗した時 (クライアント時) のシリアルデータの扱い "on": シリアルデータを破棄する。 "off": シリアルデータをバッファに残す。	off

備考

シリアルポートと TCP/IP との間でプロトコル変換を行います。

切断タイマ

TCP セッションの切断タイマを設定することを推奨します。WAN 側と TCP セッションが張られている状態で PPP が切断されても、TCP セッションは残ったままとなります。

トランスペアレントクライアントの再接続

トランスペアレントクライアントは、サーバへの接続に失敗した時は再接続を行います。ただし、CONNECTTRIGGER が datain かつ BUFFERCLEAR が on の場合は、受信したシリアルデータを破棄し、再接続を行いません。次のデータが来たら再度接続を行います。

関連項目

変換モードの選択は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

シリアルポートパラメータ設定は「6.2 シリアルポート通信パラメータ設定」を参照してください。

パケット化判定時間は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

6.5 UDP トランスペアレントモード

書式

rsport 1 udpdestination (DESTINDEX) (DESTHOST) [(DESTPORT)]	UDP トランスペアレント宛先設定
rsport 1 udpdestination (DESTINDEX) delete	UDP トランスペアレント宛先削除
rsport 1 udpsrcport (SRCPORT)	UDP トランスペアレントソースポート設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
DESTINDEX	宛先登録番号 (0-31)	未登録
DESTHOST	宛先ホストの IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN	未登録
DESTPORT	宛先ホストの UDP ポート番号 (1-65535)	30001
SRCPORT	送信元 UDP ポート番号 (1024-65535)	30001

備考

シリアルポートと UDP/IP との間でプロトコル変換を行います。UDP パケットの欠落によるデータ抜けが起こり得ます。UDP トランスペアレントモードでは欠落検出や再送は行いませんので、ユーザデータにおいてチェックサムなどで欠落を判定できるようにしてください。

備考 2

シリアルデータを複数の IP ホストへ同報できます。(シリアルデータサイズ×宛先数) に相当する量のトラフィックが IP 上で発生します。データ量によっては、特に低速の WAN 側へ送信する場合は、バッファオーバーフローによるデータ欠落が発生します。

備考 3

UDP トランスペアレントモードで送信する UDP パケットのペイロードサイズは最大 2048 バイトです。受信シリアルデータをパケットに区切る際は、受信データサイズが UDP パケットペイロード最大長に達するか、シリアルデータ間のアイドル時間が一定時間経過するかで判定します。アイドル時間の判定時間は "rsport 1 rxdletime" によって設定することができます。

関連項目

変換モードの選択は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。
シリアルポートパラメータ設定は「6.2 シリアルポート通信パラメータ設定」を参照してください。
パケット化判定時間は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

6.6 COM リダイレクタモード

書式

rsport scfcport (SCFCPORT)	COM リダイレクタサーバポート
----------------------------	------------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
SCFCPORT	COM リダイレクタサーバの TCP ポート番号 (2300-65535)	33334

備考

COM リダイレクタサーバとして動作させます。Windows 用のクライアントソフト「WinCom リダイレクタ」と組み合わせて利用します。クライアントソフトは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

備考 2

COM リダイレクタモードでは、本装置のシリアルポートの通信速度などのパラメータは、WinCom リダイレクタ側から設定されます。Windows 上の仮想 COM ポートを利用するアプリケーションから指定してください。

関連項目

変換モードの選択は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

6.7 MODBUS 機能設定

書式

rsport 1 modbus server (FLAG)	サーバ機能
rsport 1 modbus slaveid (SLAVE)	スレーブ ID 設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"enable": シリアルサーバ有効化 "disable": シリアルサーバ無効化	disable
SLAVE	スレーブ ID (1-247)	50

備考

MODBUS シリアル通信において、マスター側となるかスレーブ側となるかを選択します。スレーブ側の場合、サーバを有効化してください。また、自身のスレーブ ID を変更できます。

6.8 シリアルポート状態表示

書式

show rsport	シリアルポート状態表示
-------------	-------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

> show rsport			
Framing Error	:	0	フレーミングエラー数
Overrun Error	:	0	オーバーランエラー数
Buffer Overflow	:	0	バッファオーバーフロー数
Parity Error	:	0	パリティエラー数
Noise Error	:	0	ノイズエラー数

6.9 HTTP 変換モード

書式

rshttp 1 serverurl (URL)	宛先 URL 設定
rshttp 1 method (METHOD)	HTTP メソッド設定
rshttp 1 authentication (AUTHTYPE)	認証方法設定
rshttp 1 username (USER)	BASIC 認証ユーザ名設定
rshttp 1 password (PASSWORD)	BASIC 認証パスワード設定
rshttp 1 token (TOKEN)	BEARER 認証トークン設定
rshttp 1 contenttype (CONTENTTYPE)	ContentType 設定
rshttp 1 usedelimiter (USEDELIMITER)	区切り文字機能設定
rshttp 1 delimiter (DELIMITER)	区切り文字設定
rshttp 1 senddelimiter (SENDELIMITER)	区切り文字送信設定
rshttp 1 messagesize (MESSAGESIZE)	HTTP BODY 最大長設定
rshttp 1 messagetimer (MESSAGETIMER)	送信タイマ設定
rshttp 1 retrycount (RETRYCOUNT)	再送回数設定
rshttp 1 retryinterval (RETRYINTERVAL)	再送間隔設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
URL	宛先 URL (255 文字まで) "http://"または"https://"で始まる文字列を指定してください。その他のスキームには対応していません。	未登録
METHOD	"post": POST メソッドで送信 "put": PUT メソッドで送信	post
AUTHTYPE	"none": 認証なし "basic": BASIC 認証 "bearer": BEARER 認証	none
USER	BASIC 認証ユーザ名 (63 文字まで) AUTHTYPE が"basic"の場合に利用します。	未登録
PASSWORD	BASIC 認証パスワード (31 文字まで) AUTHTYPE が"basic"の場合に利用します。	未登録
TOKEN	BEARER 認証トークン (127 文字まで) AUTHTYPE が"bearer"の場合に利用します。	未登録
CONTENTTYPE	リクエストヘッダに付加する ContentType 文字列 (127 文字まで)	text/plain

USEDELIMITER	"no": 区切り文字によってストリームを区切らない "yes": 区切り文字によってストリームを区切る	no
DELIMITER	区切り文字 16 進値 (00-ff) USEDELIMITER が "yes" の場合に利用します。	0d
SENDELIMITER	"no": 区切り文字を HTTP サーバへ送らない。 "yes": 区切り文字を HTTP サーバへ送る。	no
MESSAGESIZE	HTTP BODY 最大長 (1-2048 バイト)	2048
MESSAGETIMER	送信タイマ (0-99999999 秒) シリアルデータを受信してから指定時間無通信状態が経過すると HTTP リクエストを送信します。	10

備考

シリアルポートから受信したデータを HTTP リクエスト本文として送信します。HTTP サーバに対して送信が成功すると、シリアルポートへ [CR][LF]OK[CR][LF] を送信します。失敗すると [CR][LF]NG[CR][LF] を送信します。

ストリームの区切り

シリアルポートから受信するデータストリームは次のいずれかの条件で区切られ、HTTP リクエストとして送信されます。

条件	説明
区切り文字	シリアルデータストリームに指定文字が現れると、それまでに受信したデータを HTTP リクエストで送信します。区切り文字自体も送るかどうかを選択できます。
サイズ	シリアルデータを指定サイズ受信したら、HTTP リクエストを送信します。
無通信時間	シリアルデータを受信してから無通信状態が指定時間経過したら、HTTP リクエストを送信します。

6.10 SSL トランスペアレントモード

SSL トランスペアレントモード

SSL トランスペアレントモードは TCP トランスペアレントモードを SSL 上で行うモードです。SSL 上で行う点以外 TCP トランスペアレントモードと動作や設定内容は同じです。

関連項目

TCP トランスペアレントモードは「6.4 TCP トランスペアレントモード」を参照してください。

7 接点の監視と制御

本装置に装備するデジタル接点の利用に関するコマンドを説明します。

7.1 入力接点の設定

書式

di (CHANNEL) powerontrigger (FLAG)	省電力復帰トリガ設定 (OFF→ON)
di (CHANNEL) powerontrigger2 (FLAG)	省電力復帰トリガ設定 (ON→OFF)
di (CHANNEL) debounce (TIME)	デバウンス時間

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
CHANNEL	入力接点番号 (0-1, 100-107) 接点番号 100-107 は仮想接点入力です。	
FLAG	接点入力を省電力動作からの復帰トリガとするかどうか "off": 復帰トリガとしない。 "on": 復帰トリガとする。 仮想接点に対しては、省電力復帰トリガ設定は行えません。	off
TIME	入力検出を確定させる時間 (0-5000msec) 入力変化を検出した後、指定時間状態が維持されていたら変化信号とみなします。指定時間未満の場合はノイズとみなして無視します。 0 を指定するとタイマを起動せずに入力変化を信号変化とみなします。	0

備考

"powerontrigger"は DI が OFF から ON への変化をトリガとします。"powerontrigger2"は DI が ON から OFF への変化をトリガとします。"powerontrigger2"を利用できないハードがあります。"show product"コマンドの表示において"Dlonoff wakeup"が"Not Supported"となっている場合、DI ON→OFF トリガは利用できません。

仮想接点入力について

番号 100-107 は仮想接点入力に対応します。仮想接点入力は、本装置上の MODBUS コイルレジスタ 100-107 を操作することによって変更できます。

関連項目

MODBUS レジスタは「14.12 MODBUS レジスタ」を参照してください。

7.2 出力接点の設定

書式

do (CHANNEL) initialctrl (INIT)	接点出力初期値
do (CHANNEL) powersaving (POWERSAVING)	省電力動作移行時の制御

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
CHANNEL	出力接点番号 (0, 1)	
INIT	接点出力の初期値 "off": オフにする。 "on": オンにする。	off
POWERSAVING	省電力動作へ移行する際に行う制御 "none": 移行時及び復帰時に制御しない。 "off": 移行時にオフにする。復帰時には初期値に制御する。 "on": 移行時にオンにする。復帰時には初期値に制御する。	none

備考

接点出力の初期値は、電源 ON 起動直後に制御する状態です。"powersaving"を"none"以外に設定すると、省電力動作からの復帰時にも初期値へ制御します。

7.3 出力接点の制御

書式

do (CHANNEL) on[(HOLD)]	ON 制御
do (CHANNEL) off[(HOLD)]	OFF 制御
do * (CTRL) [(HOLD)]	接点 0, 1 を同時に制御

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
CHANNEL	出力接点番号 (0-1, 100-107)
HOLD	状態維持時間 (1-300000msec) パルス出力を行う。省略時はパルス出力とならず、元の状態へ戻さない。
CTRL	接点 0, 1 を同時に制御する際の内容 "on": 両方 ON "off": 両方 OFF "reset": 両方を初期値にする。 "0": 両方 OFF "1": 接点 0 を ON, 接点 1 を OFF にする。 "2": 接点 0 を OFF, 接点 1 を ON にする。 "3": 両方 ON

備考

接点出力状態を変更します。

備考 2

接点番号 100-107 は仮想接点出力です。外部 Modbus 機器のコイルレジスタを本コマンドで制御します。

関連項目

接点出力初期値の設定は「7.2 出力接点の設定」を参照してください。

仮想接点出力は「7.5 仮想接点出力の設定」を参照してください。

7.4 接点状態の表示

書式

show di [(CHANNEL)]	入力接点状態
show do [(CHANNEL)]	出力接点状態

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
CHANNEL	接点番号 (0-1, 100-107) 省略時は接点 0 および 1 の情報を表示します。 接点番号 100-107 は仮想接点です。

表示例

> show di	入力接点 0, 1 の表示
di0=off di1=on	
> show di 100	仮想接点入力 100 の状態を表示
off	
> show do	出力接点の出力状態を表示
do0=off do1=off	
> show do 100	仮想接点出力 100 の状態を表示
fail	

備考

状態は"on"または"off"で示されます。

備考 2

仮想接点出力についてはさらに"fail"状態があります。仮想接点が未登録であったり、遠隔装置への疎通が取れない場合です。

関連項目

仮想接点出力は「7.5 仮想接点出力の設定」を参照してください。

7.5 仮想接点出力の設定

書式

do (CHANNEL) map modbus (SLAVE) (REGISTER) [(COUNT) [(INTERVAL)]]	仮想接点登録
do (CHANNEL) map delete	仮想接点削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
CHANNEL	仮想接点番号 (100-107)	未登録
SLAVE	MODBUS スレーブ番号 (1-247)	未登録
REGISTER	コイルレジスタ番号 (0-65535)	未登録
COUNT	失敗判定回数 (1-10) 遠隔状態ポーリングが連続して指定回数失敗した場合、同期が外れた状態 (FAIL) となります。 省略すると遠隔機器のポーリングを行いません。	ポーリングしない
INTERVAL	ポーリング間隔 (1-600 秒) 遠隔機器をポーリングする間隔です。	10 秒

備考

仮想接点番号に遠隔 MODBUS 機器のコイルレジスタを割り当てます。

TCP 機器とスレーブ番号の関連付け

遠隔機器へ MODBUS/TCP でアクセスする場合は、機器 IP アドレスとスレーブ番号を "mb slavemap" コマンドで関連付けてください。

遠隔機器のポーリング

"COUNT" に値を指定すると、遠隔機器の状態を定期的に読み取り、本機側の状態と一致しない場合は、遠隔機器の状態変更を行います。

関連項目

スレーブ番号割り当ては「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

8 省電力動作モード

本装置の省電力動作モード関連のコマンドを説明します。

8.1 省電力動作モード移行設定

書式

powersaving activate (FLAG)	省電力動作モードへ移行するかどうか
powersaving idletimer (TIMER)	モード移行タイマ
powersaving mode (MODE)	動作モード設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 省電力モードへ移行しない。 "on": 省電力モードへ移行する。	off
TIMER	移行タイマ (15-99999999 秒)	60
MODE	"local": ローカル省電力モード "remote": リモート省電力モード	remote

関連項目

省電力動作モード仕様は「14.8 省電力動作モード」を参照してください。

8.2 省電力動作モードから DI 信号入力で復帰させる

関連項目

DI 信号による省電力動作モード復帰設定は「7.1 入力接点の設定」を参照してください。

8.3 強制的に省電力動作モードへ移行する

書式

standby	省電力モードへ移行
---------	-----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

powersaving コマンドの設定内容にかかわらず、強制的に省電力動作モードへ移行します。PPP が確立している場合は、切断してから移行します。powersaving コマンドにおけるモード移行条件は無視します。

関連項目

powersaving コマンドは「8.1 省電力動作モード移行設定」を参照してください。

powersaving コマンドにおけるモード移行条件は「14.8 省電力動作モード」を参照してください。

9 ファイルの表示と操作

ファイル操作についてのコマンドを説明します。

9.1 設定ファイルの保存

書式

copy config (DEST)	設定ファイルの保存
copy config temporary[(TIMEOUT)]	一時設定として保存

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DEST	"flash": FLASH メモリへ保存
TIMEOUT	一時設定のロールバックタイマ (0-86400 秒) 0 を指定するとタイマを起動しません。

一時設定

一時設定は、設定を永続保存せずに RAM 上に一時的に格納します。一時設定格納後に "reboot" コマンドで再起動すると一時設定で起動します。ロールバックタイマを設定すると、一時設定で起動後に指定時間経過すると元の永続設定で再起動します。

9.2 技術サポート情報の保存

書式

copy tech-support (DEST)	技術サポート情報の保存
--------------------------	-------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DEST	"ramdisk": RAM ディスクへ保存

備考 1

ファイル名は、"CURRENT.TSP"となります。

備考 2

出力先に"CURRENT.TSP"が既に存在する場合、既存ファイル名を"(YYMMDDSS).TSP"に変更します。
"YYMMDD"は元ファイル作成日付です。"SS"は枝番です。バックアップファイル数が一定数を超えたら、一番古いバックアップファイルを削除します。

関連項目

RAM ディスクについては「14.4 RAM ディスク」を参照してください。
ファイル作成については「14.5 ファイル作成」を参照してください。

9.3 ファイルの削除

書式

delete file (DISK):(FILENAME)	ファイル削除
-------------------------------	--------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DISK	"ramdisk": RAM ディスク
FILENAME	対象ファイル名 名前部分(ピリオドの前)にのみワイルドカード("*")を指定できます。例: "*.CAP"

関連項目

RAM ディスクについては「14.4 RAM ディスク」を参照してください。

9.4 ファイル一覧表示

書式

show file list [(DISK)]	ファイル一覧表示
show file list (DISK):*(.EXT)	拡張子によるフィルタ

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DISK	"ramdisk": RAM ディスク 省略時は全ディスクの一覧を表示します。
EXT	指定拡張子ファイルのみを表示します。 "CAP": キャプチャファイル "CFG": 設定ファイル "DAT": データファイル "IMG": イメージファイル (ファームウェア、ブートローダ) "LOG": ログファイル "TSP": 技術サポート情報ファイル

関連項目

RAM ディスクについては「14.4 RAM ディスク」を参照してください。

9.5 ファイル内容表示

書式

show file (DISK):(FILENAME) [(COUNT)]	ファイル内容表示
---	----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DISK	"ramdisk": RAM ディスク
FILENAME	ファイル名
COUNT	表示行数 正数の場合先頭から、負数の場合末尾までの行数を指定できます。 行数指定は、対象がテキストファイル (CFG, LOG, TSP) の場合のみ有効です。

備考

表示内容はファイル種別により異なります。対象がテキストファイル (CFG, LOG, TSP) の場合はその内容を表示します。イメージファイル (IMG) の場合は、対象イメージの製品およびバージョンを表示します。パケットキャプチャファイル (CAP) の場合は Ethernet か PPP かを表示します。

関連項目

RAM ディスクについては「14.4 RAM ディスク」を参照してください。

9.6 パケットキャプチャの実行

書式

dump (INTERFACE) (DEST) [(SNAPLEN) [(MAXCOUNT)]]	キャプチャ開始
dump stop	キャプチャ停止

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
INTERFACE	"lan": LAN 側 "wan": WAN 側
DEST	"ramdisk": RAM ディスクへ出力する。
SNAPLEN	パケットあたりの最大キャプチャ長 (64-65535) 省略時は 65535 となります。
MACOUNT	キャプチャパケット数 (0-99999999) 指定回数キャプチャしたらキャプチャを停止します。0 を指定すると無制限にキャプチャします。 省略時は 0 となります。

備考

出力形式は PCAP 形式となります。キャプチャ中のファイル名は "CURRENT.CAP" です。キャプチャを停止するかファイルサイズが一定値を超えたら "(YYMMDDSS).CAP" に変更します。"YYMMDD" は作成日付、"SS" は枝番です。Web 管理画面よりダウンロードしてください。

関連項目

RAM ディスクについては「14.4 RAM ディスク」を参照してください。
ファイル作成については「14.5 ファイル作成」を参照してください。

9.7 パケットキャプチャ状態の表示

書式

show dump	状態表示
-----------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

> show dump	
Interface	: Ethernet 対象インタフェース
Storage	: ramdisk 出力先
Count	: 11 キャプチャしたパケット数
Started at	: 2014/10/29 13:36:32 キャプチャ開始日時
> show dump	
packet capture	is not working. 停止中の表示

9.8 ファイルの MD5 ハッシュ計算

書式

show file md5sum (DISK):(FILENAME)	MD5 ハッシュ計算
------------------------------------	------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DISK	"ramdisk": RAM ディスク
FILENAME	ファイル名

表示例

```
> show file md5sum ramdisk:FIRMWARE.IMG
md5: D83ADCC51322ED2B6F328EAC7AD70EB2
```

10 運用・管理機能

装置運用についてのコマンドを説明します。

10.1 ログインパスワードの変更

書式

main password (PASSWORD)	パスワード変更
--------------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
PASSWORD	パスワード (半角英数字記号 15 文字以内)	system

備考

Telnet および Web 管理画面へのログイン時のパスワードです。パスワードは本体 FLASH メモリに格納します。"show config"では表示しません。

10.2 技術サポート情報の表示

書式

show all	技術サポート情報表示
show tech-support	技術サポート情報表示

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

関連項目

技術サポート情報のファイル保存は「9.2 技術サポート情報の保存」を参照してください。

10.3 装置情報の表示

書式

show product	装置情報表示
--------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示項目について

項目	説明
ProductName	本体機器名
SerialNumber	機器シリアル番号
MACAddress	Ethernet MAC アドレス
PWController	電源コントローラバージョン
Bootloader	ブートローダバージョン
Firmware	ファームウェアバージョン
Firmware MD5	ファームウェア MD5 ハッシュ
RSPort	RS ポートの種別 (AS-P250 のみ)

表示例

```
> show product
ProductName   : AS-M250/KL
SerialNumber  : 10390000003
MACAddress    : 00:80:6d:7a:c0:03
PWController  : version 12
Bootloader    : build 13
Firmware      : v2.2.0 build 1
Firmware MD5  : 97DE6E8D2C2F9EDE07C744FD05B46FEA
```

10.4 設定を保存して再起動

書式

restart	再起動実行
---------	-------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

編集中的設定を保存してから装置を再起動します。通信モジュールの再起動は行いません。

関連項目

設定を保存しない再起動は「10.5 再起動」を参照してください。

10.5 再起動

書式

reboot[module]	再起動実行
-----------------	-------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

装置を再起動します。"restart"コマンドとの違いは、設定保存を行わない点と通信モジュールの電源を切るかどうかを指定できる点です。引数に"module"を指定すると、通信モジュールの電源を切ってから再起動を行います。

関連項目

"restart"コマンドは「10.4 設定を保存して再起動」を参照してください。

10.6 定期再起動

書式

autoreboot activate (FLAG)	定期再起動フラグ
autoreboot time (HH) [: (MM)]	定期再起動時刻

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 定期再起動しない。 "on": 定期再起動する。	off
HH	実施時 (0-23)	0
MM	実施分 (0-59) 省略時は0となります。	0

備考

1日1回、指定時刻に再起動を行います。再起動の際、通信モジュールの電源を切ります。1日に複数回あるいは、週に1回など日時を柔軟に設定したい場合、あるいは通信モジュールの電源を切りたくない場合はスケジュール機能を利用してください。

関連項目

スケジュールコマンドは「10.12 スケジュール」を参照してください。
通信モジュールの電源を切らない再起動は「10.5 再起動」を参照してください。

10.7 RTC 時刻設定

書式

rtcstart (DATETIME)	RTC 時刻設定
---------------------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DATETIME	<p>内蔵 RTC に時刻を設定します。</p> <p>入力形式 (数字 12 文字): YYMMDDHHmmSS</p> <p>YY: 年 (00-99)</p> <p>MM: 月 (01-12)</p> <p>DD: 日 (01-31)</p> <p>HH: 時 (00-23)</p> <p>mm: 分 (00-59)</p> <p>SS: 秒 (00-59)</p> <p>例: 2008 年 10 月 7 日 14 時 21 分 38 秒 → 081007142138</p>

関連項目

RTC 現在値表示は「10.8 時刻表示」を参照してください。

10.8 時刻表示

書式

show time	時刻表示
-----------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

RTC に設定されている現在日時を表示します。

10.9 稼働時間表示

書式

show uptime	稼働時間表示
-------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

起動してからの稼働時間を表示します。

10.10 モバイル時刻同期

書式

adjustclock (FUNCTION)	時刻同期設定
------------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FUNCTION	"disable": モバイル網と時刻同期しない。 "enable": モバイル網と時刻同期する。	enable

時刻同期のタイミング

時刻同期のタイミングは機種によって異なります。

機種	同期タイミング
AS-M250/NL, AS-P250/NL	電源投入後、初回網登録時に同期します。 定期的に同期したい場合は、定期再起動を行なってください。
AS-M250/KL, AS-P250/KL	起動直後と、その後 1 時間毎に同期します。

関連項目

定期再起動は「10.6 定期再起動」を参照してください。

10.11 タイムゾーン

書式

timezone (TIMEZONE)	タイムゾーン設定
---------------------	----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMEZONE	タイムゾーン (-47..48) GMT からのオフセットを 15 分単位で指定します。	36 (日本標準時)

10.12 スケジュール

書式

schedule (ID) (HOUR):(MIN) (DAY) (MON) [(COMMAND)]	スケジュール登録
schedule (ID) delete	スケジュール削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	スケジュール登録番号 (0-4)	未登録
HOUR	時 (0-23)、ワイルドカード、リスト表記または範囲/間隔表記	未登録
MIN	分 (0-59)、ワイルドカード、リスト表記または範囲/間隔表記	未登録
DAY	日 (1-31)、ワイルドカード、リスト表記または範囲/間隔表記	未登録
MON	月 (1-12)、ワイルドカード、リスト表記または範囲/間隔表記	未登録
COMMAND	制御コマンド (255 文字まで) "template:(テンプレート登録番号)"を指定すると、テンプレートに登録したコマンドラインを実行します。	未登録

リスト表記

カンマで区切って複数の値を指定できます。リスト表記とその他の表記（範囲、間隔、ワイルドカード）は共存できません。

表記例	説明
*:0,30**	毎時 00 分と 30 分
0:0 1 3,5,7	3/1, 5/1, 7/1 の 00:00

範囲表記

ハイフンで範囲を指定します。間隔表記と共存できます。

表記例	説明
1-3:30**	01:30, 02:30, 03:30

間隔表記

スラッシュで間隔を指定します。範囲やワイルドカードと組み合わせて利用します。

表記例	説明
:/2**	偶数分
*:1-59/2**	奇数分
:/10**	毎時 00, 10, 20, 30, 40, 50 分

ワイルドカード

"*"を指定することにより、とりうるすべての値を指定します。間隔表記と組み合わせ可能です。

表記例	説明
: **	毎分

コマンド

コマンドとして指定できるのは、制御コマンドです。設定コマンドや表示コマンドは指定しても機能しません。なお、制御コマンドのうち以下に挙げるものは指定できません。

項目	説明
スケジュールで利用できない制御コマンド	clr, dig, ping, quit, restart

省電力動作モード

スケジュールが設定されている状況で省電力動作モードに移行すると、スケジュール時刻に自動起床します。

関連項目

省電力動作モードは「8 省電力動作モード」を参照してください。

10.13 備考文字列の入力

書式

memo [(MEMO)]	備考文字列の設定
-----------------	----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
MEMO	任意の文字列 (1-255 バイト) UTF-8 により日本語を入力できます。すべて全角文字の場合は 85 文字までです。 引数を指定しないか、"" を指定すると設定を消去します。	未設定

備考

設定データとして保存されます。設定データに対する備考として利用してください。装置動作には影響しません。

10.14 FLASH メモリ上の設定データの初期化

書式

clr	初期化実行
-----	-------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

設定データを初期化します。ただし、LAN 側 IP アドレスおよびネットマスクだけは初期化しません。本コマンド実行後、"restart"コマンドあるいは"copy config flash"コマンドを実行することにより FLASH メモリ上の設定データが初期化されます。

関連項目

"restart"コマンドは「10.4 設定を保存して再起動」を参照してください。

"copy config"コマンドは「9.1 設定ファイルの保存」を参照してください。

"clear config"コマンドは「10.19 カウンタ／ログ／設定データの初期化」を参照してください。

10.15 設定データを表示する

書式

show config	設定データ表示
show config source	設定読込元表示

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

> show config	編集中の設定を表示
main ip 192.168.1.254	
main mask 255.255.255.0	
domain 0 au.au-net.ne.jp user@au.au-net.ne.jp au 0.0.0.0/0 0.0.0.0	
nat 47 * * * ipcp 0	
dnsrelay activate on	

設定の読込元

設定の読込元には次の種類があります。

読込元表示	説明
flash	FLASH メモリ上の設定
temporary	"config load"コマンドによって読み込んだ設定ファイル
embedded	ファームウェアに埋め込まれた設定ファイル 設定ファイルを埋め込んだカスタマイズファームウェアで表示されます。 標準ファームウェアには設定ファイルは埋め込まれていません。

関連項目

設定ファイルの一時読込は「10.33 設定ファイルの一時読込」を参照してください。

10.16 ログの表示

書式

show log[(COUNT)]	ログ表示
--------------------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
COUNT	表示行数 (-1000..1000) 正数の場合、保持している最古のログからの行数です。負数の場合、最新のログまでの行数です。 省略時または0の場合は保持している全件数を表示します。

備考

メモリ上に保持しているログを表示します。

10.17 ログの消去

書式

log clear	消去実行
-----------	------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考 1

メモリ上に保持しているログを消去します。

備考 2

"clear"コマンドでも消去できます。

関連項目

メモリ上に保持しているログの表示は「10.16 ログの表示」を参照してください。

"clear"コマンドは「10.19 カウンタ／ログ／設定データの初期化」を参照してください。

10.18 システムエラーログの表示

書式

show syserr	システムエラーログ表示
-------------	-------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

直近に発生したシステムエラーログを表示します。このログは不揮発領域に保存されます。

10.19 カウンタ／ログ／設定データの初期化

書式

clear (TARGET)	消去実行
----------------	------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
TARGET	<p>"allcounter": カウンタ("icmpstat", "etherr", "naterr", "neterr", "pppframe", "pppstat", "rsport")を初期化します。</p> <p>"config": 設定データを初期化します。</p> <p>"icmpstat": ICMP カウンタを初期化します。</p> <p>"etherr": イーサネットエラーカウンタを初期化します。</p> <p>"log": ログを初期化します。</p> <p>"naterr": NAT エラーカウンタを初期化します。</p> <p>"neterr": IP/TCP/UDP エラーカウンタを初期化します。</p> <p>"pppframe": PPP フレームカウンタを初期化します。</p> <p>"pppstat": PPP カウンタを初期化します。</p> <p>"rsport": シリアルポートエラーカウンタを初期化します。</p> <p>"syserr": システムエラーログを初期化します。</p>

備考

"clear config"は FLASH メモリ上の設定データを初期化します。"clr"コマンドとの違いは、LAN 設定およびパスワードも初期化される点です。

関連項目

clr コマンドは「10.14 FLASH メモリ上の設定データの初期化」を参照してください。

10.20 オープンソースソフトウェアライセンスの表示

書式

show osslicense	ライセンス表示
-----------------	---------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

本装置で利用しているオープンソースソフトウェアのライセンスを表示します。

10.21 SYSLOG 転送

書式

syslog ipaddress (SERVER)	syslog サーバアドレス
syslog port (PORT)	syslog サーバポート
syslog option (CATEGORY) (FLAG)	転送するカテゴリ

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
SERVER	転送先の SYSLOG サーバ IP アドレス (X. X. X. X) "0.0.0.0"を設定すると転送しません。	0.0.0.0
PORT	転送先の SYSLOG サーバ UDP ポート番号 (1-65535)	514
CATEGORY	"system": システム関連 "rs232c": RS ポート関連 "auth": 認証関連 "ppp": PPP 関連 "module": 通信モジュール関連	未設定
FLAG	"off": 転送しない。 "on": 転送する。	off

備考

外部の SYSLOG サーバへログを転送します。転送を行う場合はサーバアドレスを設定してカテゴリを1つ以上"on"にしてください。

10.22 ファームウェアの更新

書式

firmware update (URL) [(AUTH) [md5: (MD5 URL)]]	ファームウェア更新 (HTTP)
---	------------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
URL	ファームウェアイメージファイルを示す URL "http://"または"https://"から始まる文字列を指定してください。その他のスキームには対応していません。
AUTH	認証指定 "none": 認証なし "basic:(ユーザ ID):(パスワード)": BASIC 認証ヘッダをつける。 省略時は認証ヘッダを HTTP リクエストに付加しません。
MD5 URL	MD5 ファイル URL ファームウェアイメージファイルの MD5 ハッシュを格納するファイルの URL "http://"または"https://"から始まる文字列を指定してください。その他のスキームには対応していません。 省略時は MD5 ファイルのダウンロードをしません。

備考

外部 HTTP サーバ上にあるファームウェアイメージファイルをダウンロードして更新を行います。

MD5 ハッシュのチェック

MD5 URL を指定した場合、ファームウェアイメージファイルのダウンロードに先立ち、MD5 ファイルのダウンロードを行います。MD5 ファイル内容が稼働中のファームウェア MD5 ハッシュと異なる場合にファームウェアイメージファイルをダウンロードします。さらに、ダウンロードしたファームウェアイメージファイルの MD5 ハッシュ値と MD5 ファイルの内容が一致するかどうかチェックします。

MD5 ファイルの内容

HTTP サーバに配置する MD5 ファイルの内容は、最初のトークンが、MD5 ハッシュ 16 進数文字列となるようにしてください。

MD5 ファイル内容例

9b08fe669b34cdc8bfe8783f5baa6809 asm250.img
ファイル内容の最初の単語が MD5 ハッシュを示します。続く文字列は無視します。

10.23 Wake on LAN マジックパケットの送信

書式

wol send (MACADDRESS) [(DEST) [(PORT)]]	マジックパケット送信
---	------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
MACADDRESS	対象の MAC アドレスを入力します。 形式は“XX:XX:XX:XX:XX:XX”(XX は 16 進数値)となります。
DEST	マジックパケットは UDP パケットとして送信します。宛先の IP アドレス (X.X.X.X) を指定できます。 省略すると、LAN 側の directed broadcast となります。
PORT	マジックパケットは UDP パケットとして送信します。宛先のポート番号を指定できます。 省略すると 9(discard) となります。

10.24 Wake on LAN マジックパケットの再送設定

書式

wol retry (COUNT) [(INTERVAL)]	マジックパケット再送設定
----------------------------------	--------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
COUNT	再送回数 (0-30)	0 (再送しない)
INTERVAL	再送間隔 (1-10 秒)	1

10.25 ping 実行

書式

ping [-t] [-n (COUNT)] [-l (SIZE)] [-w (TIMEOUT)] (DEST)	ping 実行
--	---------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
-t	CTRL+C が押下されるまで送信し続けます。
-n (COUNT)	送信回数 (1-99999) 省略時は 4 回です。
-l (SIZE)	ping の送信データバイト数 (1-1448) 省略時は 32 バイトです。
-w (TIMEOUT)	応答待ちタイムアウト時間 (1000-99999 ミリ秒) 省略時は 2000 です。
DEST	ping 送信先の IP アドレスまたは FQDN

実行例

```
> ping 192.168.254.1
Pinging 192.168.254.1 with 32 bytes of data:
Reply from 192.168.254.1: bytes=32 time=4ms seq=1
Reply from 192.168.254.1: bytes=32 time=4ms seq=2
Reply from 192.168.254.1: bytes=32 time=4ms seq=3
Reply from 192.168.254.1: bytes=32 time=4ms seq=4
>
```

10.26 名前解決

書式

dig (NAME)	名前解決実行
------------	--------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
NAME	解決しようとする FQDN

実行例

```
> dig example.test.domain
XXX.XXX.XXX.XXX
>
```

10.27 ホスト名の設定

書式

hostname (HOSTNAME)	ホスト名設定
---------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
HOSTNAME	ホスト名文字列 (半角英数字およびハイフン, 63 文字まで) "" を指定するとデフォルトホスト名となります。	AS-M250-XXXXXXXXXX

ホスト名について

装置を識別する名前を設定できます。この文字列は転送 SYSLOG 中のホスト名として利用されます。またテンプレート機能で利用できます。

デフォルトホスト名

デフォルトホスト名は、"AS-M250-(シリアル番号 11 桁)"または"AS-P250-(シリアル番号 11 桁)"となります。

関連項目

SYSLOG 転送は「10.21 SYSLOG 転送」を参照してください。

テンプレート機能は「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

10.28 テンプレート登録

書式

template (TEMPLATEID) (TEMPLATE)	テンプレート登録
template (TEMPLATEID) delete	テンプレート削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9)	未登録
TEMPLATE	テンプレート文字列 (UTF-8, 480 バイトまで) 文字列中に半角スペースを含む場合は、文字列全体をシングルクォートで括ってください。 例: template 0 'ただいまの時刻は \${NOW} です。'	未登録

キーワード

テンプレートはその利用時にテンプレート文字列中の置換キーワードが展開されます。置換キーワードは中括弧で括り、その先頭に '\$' を付けてください。例: \${show config}

備考

テンプレートには複数のキーワードを含むことができます。置換後のサイズは最大 512K バイトです。

関連項目

定義されている置換キーワードは「14.14 置換キーワード」を参照してください。
 テンプレートの置換テストは「10.29 テンプレートの置換テスト」を参照してください。
 テンプレートの利用は「14.9 テンプレートの利用」を参照してください。
 ホスト名は「10.27 ホスト名の設定」を参照してください。
 備考文字列は「10.13 備考文字列の入力」を参照してください。
 モバイル通信量カウンタは「3.14 モバイル通信量カウンタ」を参照してください。

10.29 テンプレートの置換テスト

書式

show template (TEMPLATEID)	テンプレート置換結果表示
----------------------------	--------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9)

備考

テンプレートの置換結果を表示します。

関連項目

テンプレートの登録は「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

10.30 スケジュール登録状況の表示

書式

show schedule	スケジュール登録状況表示
---------------	--------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示例

> show schedule	
alarm 2014/12/16-14:39	次回実行予定時刻
schedule 0:	スケジュール0の登録内容
command : log output template:3	実行コマンド
month : every month	毎月実行
day : every day	毎日実行
hour : every hour	毎時実行
minute : 1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 55 57 59	実行する分のリスト
schedule 1:	スケジュール1の登録内容
command : reboot	
month : every month	
day : every day	
hour : 22	22時実行
minute : 30	30分実行
schedule 2 is not set.	スケジュール2は未登録
schedule 3 is not set.	
schedule 4 is not set.	

10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録

書式

evcmd (EVCMDID) (EVENT) (COMMAND)	イベントコマンド登録
evcmd (EVCMDID) delete	イベントコマンド削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
EVCMDID	イベントコマンド登録番号 (0-9)	未登録
EVENT	イベント名	未登録
COMMAND	実行するコマンドライン 実行できるのは制御コマンドのみです。 "template: (テンプレート登録番号)"を指定すると、テンプレートに登録したコマンドラインを実行します。	未登録

登録できるイベント

"EVENT"に指定できるイベントを示します。

イベント名	説明
boot	起動イベント 起動要因にかかわらず、起動時に発行するイベントです。
poweron	電源投入起動イベント 電源投入による起動時に発行するイベントです。
wakeup	省電力動作モードからの復帰時に発行するイベントです。
trigger_wakeup	外部トリガによって省電力動作モードから復帰した場合に発行するイベントです。 外部トリガは IP 着信、SMS 受信、DI 変化のいずれかです。
timer_wakeup	タイマによって省電力動作モードから復帰した場合に発行するイベントです。
di0on	接点入力 0 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di0off	接点入力 0 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di1on	接点入力 1 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di1off	接点入力 1 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di100on	仮想接点入力 100 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di100off	仮想接点入力 100 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di101on	仮想接点入力 101 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di101off	仮想接点入力 101 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di102on	仮想接点入力 102 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。

di102off	仮想接点入力 102 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di103on	仮想接点入力 103 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di103off	仮想接点入力 103 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di104on	仮想接点入力 104 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di104off	仮想接点入力 104 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di105on	仮想接点入力 105 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di105off	仮想接点入力 105 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di106on	仮想接点入力 106 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di106off	仮想接点入力 106 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di107on	仮想接点入力 107 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di107off	仮想接点入力 107 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
do100fail	仮想接点出力 100 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do100recover	仮想接点出力 100 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do101fail	仮想接点出力 101 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do101recover	仮想接点出力 101 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do102fail	仮想接点出力 102 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do102recover	仮想接点出力 102 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do103fail	仮想接点出力 103 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do103recover	仮想接点出力 103 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do104fail	仮想接点出力 104 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do104recover	仮想接点出力 104 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do105fail	仮想接点出力 105 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do105recover	仮想接点出力 105 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do106fail	仮想接点出力 106 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do106recover	仮想接点出力 106 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do107fail	仮想接点出力 107 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do107recover	仮想接点出力 107 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
pppconnected	PPP 接続成功時に発行するイベントです。
pppdisconnected	PPP 切断時に発行するイベントです。
vbatt_low	バッテリーレベルが閾値以下になった場合に発行するイベントです。(AS-P250 のみ)
vext_low	外部電圧が閾値以下になった場合に発行するイベントです。
vext_recover	外部電圧が閾値を超過した場合に発行するイベントです。

コマンド

コマンドとして指定できるのは、制御コマンドです。設定コマンドや表示コマンドは指定しても機能しません。なお、制御コマンドのうち以下に挙げるものは指定できません。

項目	説明
evcmd で利用できない制御コマンド	clr, dig, ping, quit, restart

利用例

```
> evcmd 0 boot dump wan ramdisk
起動時に WAN 側のパケットキャプチャを開始します。

> evcmd 0 poweron copy tech-support ramdisk
電源 ON 起動時に技術サポート情報を RAM ディスクへ出力します。

> evcmd 0 dilon connect
入力接点 1 が ON になったら PPP 接続を行います。

> template 0 'di0=${DIO} di1=${DI1}'
> template 1 'wpost http://test.example/post/${SERIAL} none template:0'
> evcmd 0 di0on template:1
> evcmd 1 di0off template:1
> evcmd 2 dilon template:1
> evcmd 3 diloff template:1
入力接点が変わったら、外部 HTTP サーバへ接点状態を POST します。
```

10.32 ログの出力

書式

log output (LEVEL) (MESSAGE)	指定メッセージをログ出力
log output template: (TEMPLATEID)	テンプレートを指定してログ出力

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
LEVEL	ログレベル "normal": ノーマルレベル "warning": 警告レベル "error": エラーレベル
MESSAGE	メッセージ文字列 (250 バイトまで)
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9) 登録済みのテンプレート番号を指定して、テンプレート置換内容をログ出力します。 テンプレート置換内容が 250 バイトを超える場合はログ出力しません。 テンプレートによる出力ログのレベルは "normal" となります。

備考

出力する内容の先頭に "msg:" を付加します。

10.33 設定ファイルの一時読込

書式

config load (URL) [(AUTH) [(TIMEOUT)]]	設定ファイルをダウンロード
config load (DISK):(FILENAME) [(TIMEOUT)]	設定ファイルをディスクから読込

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
URL	設定ファイルを示す URL (255 文字まで) 外部 HTTP サーバより設定ファイルをダウンロードします。 "http://"または"https://"で始まる文字列を指定してください。その他のスキームには対応していません。
AUTH	認証指定文字列 "none": 認証なし "basic:(ユーザ名):(パスワード)": HTTP リクエストに BASIC 認証ヘッダを付加します。
DISK	"ramdisk": RAM ディスク
FILENAME	ファイル名 設定ファイルのファイル名を指定してください。
TIMEOUT	ロールバックタイマ (0-86400 秒) 0 を指定するとタイマを起動しません。

備考 1

設定ファイルを外部 HTTP サーバあるいはディスクから読み込みます。読み込んだファイルの設定内容で再起動します。

備考 2

読み込んだ設定は次回再起動時に失われ元の設定で起動します。設定を永続させるには再起動する前に、"copy config"コマンドで保存してください。

備考 3

ディスク上の設定ファイル内容を反映させるのではなく、内容を参照したい場合は"show file"コマンドを利用してください。

関連項目

設定ファイル保存は「9.1 設定ファイルの保存」を参照してください。

設定ファイル表示は「9.5 ファイル内容表示」を参照してください。

10.34 コマンドの遅延実行

書式

delay (DELAYID) (TIMEOUT) (COMMAND)	遅延実行登録
delay (DELAYID) cancel	遅延実行取消

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
DELAYID	遅延実行登録番号 (0-2)
TIMEOUT	遅延時間 (0-86400 秒)
COMMAND	実行するコマンドライン 実行できるのは制御コマンドのみです。 "template: (テンプレート登録番号)"を指定すると、テンプレートに登録したコマンドラインを実行します。

備考

制御コマンドを遅延実行します。実行時刻前なら実行の取り消しができます。

コマンド

コマンドとして指定できるのは、制御コマンドです。設定コマンドや表示コマンドは指定しても機能しません。なお、制御コマンドのうち以下に挙げるものは指定できません。

項目	説明
delay で利用できない制御コマンド	clr, dig, ping, quit, restart

利用例

<pre>> evcmd 0 di0on delay 0 30 sms send 090xxxxxxx DIO ON > evcmd 1 di0off delay 0 cancel</pre> <p>DIO が 30 秒間 ON だったら SMS を送信します。</p> <pre>> evcmd 0 boot delay 0 120 standby</pre> <p>起動から 120 秒経ったら強制的に省電力動作モードへ移行します。</p>

11 MODBUS 機能

MODBUS 機能についてのコマンドを説明します。

11.1 MODBUS スレーブマップ

書式

mb slavemap (SLAVE) rs1 [(REAL_SLAVE)]	シリアルデバイスマップ
mb slavemap (SLAVE) tcp (TCP_HOST) [(UNIT_ID)]	TCP デバイスマップ
mb slavemap (SLAVE) ssl (SSL_HOST) [(UNIT_ID)]	SSL デバイスマップ
mb slavemap (SLAVE) delete	マップ解除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
SLAVE	スレーブ番号 (1-247) 本機に設定されているスレーブ番号を指定することはできません。	未登録
REAL_SLAVE	スレーブ番号 (1-247) デバイスに設定されているスレーブ番号です。	"SLAVE"と同じ番号
TCP_HOST	MODBUS/TCP デバイスの IP アドレスまたは FQDN デバイスの TCP ポート番号が 502 ではない場合、末尾にコロン ':' に続けて番号を指定できます。	未登録
SSL_HOST	"MODBUS/TCP over SSL" デバイスの IP アドレスまたは FQDN デバイスの TCP ポート番号が 33502 ではない場合、末尾にコロン ':' に続けて番号を指定できます。	未登録
UNIT_ID	MODBUS/TCP ヘッダに示すユニット番号です。宛先が MODBUS ゲートウェイ配下のデバイスの場合、そのスレーブ番号を指定してください。	0

備考

スレーブ番号とデバイスを対応付けます。登録できるスレーブは 8 個までです。

備考 2

スレーブマップは、本機 MODBUS マスタ機能がクエリーを送信しようとする際に参照します。

備考 3

本コマンドで対応付けされていないスレーブ番号は、RS ポートに接続されているデバイスのスレーブ番号とみなします。

備考 4

"ssl"指定は、スレーブとの間で SSL 接続を行い、SSL 上で MODBUS/TCP 通信を行います。

関連項目

本機のスレーブ ID 設定は「6.7 MODBUS 機能設定」を参照してください。

11.2 MODBUS/TCP クライアント設定

書式

mb tcp-client inactivitytimer (TIMER)	無通信切断タイマ設定
mb tcp-client keepalive (KEEPALIVETIME) (INTERVAL) (RETRY)	TCP キープアライブ設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	無通信切断タイマ (0-600sec) 0 を指定すると、無通信切断を行いません。	10
KEEPALIVETIME	無通信状態になってから最初の TCP キープアライブポーリングを行うまでの時間 (0-65535 秒) 0 を指定すると TCP キープアライブを行いません。	300
INTERVAL	TCP キープアライブポーリング間隔 (1-65535 秒)	10
RETRY	TCP キープアライブ切断判定回数 (1-65535 回)	6

備考

TCP クライアントセッションの無通信切断タイマを設定します。

備考 2

"MODBUS/TCP over SSL"で接続中のクライアントセッションにも本コマンド設定が適用されます。

11.3 MODBUS/TCP サーバ設定

書式

mb tcp-server (FLAG)	TCP サーバ機能
mb tcp-server port (PORT)	TCP サーバポート設定
mb tcp-server inactivitytimer (TIMER)	無通信切断タイマ設定
mb tcp-server keepalive (KEEPALIVETIME) (INTERVAL) (RETRY)	TCP キープアライブ設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"enable": TCP サーバ有効化 "disable": TCP サーバ無効化	disable
PORT	TCP サーバポート番号 (1-65535)	502
TIMER	無通信切断タイマ (0-600sec) 0 を指定すると、無通信切断を行いません。	10
KEEPALIVETIME	無通信状態になってから最初の TCP キープアライブポーリングを行うまでの時間 (0-65535 秒) 0 を指定すると TCP キープアライブを行いません。	300
INTERVAL	TCP キープアライブポーリング間隔 (1-65535 秒)	10
RETRY	TCP キープアライブ切断判定回数 (1-65535 回)	6

備考

MODBUS/TCP サーバの設定を行います。

備考 2

"mb tcp-server port"コマンドで指定した番号が他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

備考 3

MODBUS/TCP サーバと、"MODBUS/TCP over SSL"サーバは同時に起動できます。本ページの無通信切断タイマおよび TCP キープアライブ設定は、"MODBUS/TCP over SSL"サーバに対しても適用されます。

関連項目

"MODBUS/TCP over SSL"サーバは「11.4 MODBUS/TCP over SSL サーバ」を参照してください。

11.4 MODBUS/TCP over SSL サーバ

書式

mb ssl-server (FLAG)	SSL サーバ機能
mb ssl-server port (PORT)	SSL サーバポート設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"enable": SSL サーバ有効化 "disable": SSL サーバ無効化	disable
PORT	SSL サーバポート番号 (1-65535)	33502

備考

"MODBUS/TCP over SSL"サーバの設定を行います。

備考 2

"mb ssl-server port"コマンドで指定した番号が他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

備考 3

MODBUS/TCP サーバと、"MODBUS/TCP over SSL"サーバは同時に起動できます。

関連項目

MODBUS/TCP サーバは「11.3 MODBUS/TCP サーバ設定」を参照してください。

11.5 MODBUS レスポンス遅延

書式

mb respondedelay (DELAY)	レスポンス遅延設定
--------------------------	-----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
DELAY	遅延時間 (0-100msec)	0

備考

MODBUS クエリー受信後、指定時間経過してからレスポンスを送信します。

11.6 MODBUS レスポンスタイマ

書式

mb responsetimer (TIMER)	レスポンスタイマ変更
--------------------------	------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	レスポンスタイマ (1-10sec)	3

備考

MODBUS クエリー送信後、応答を受信するまでの待ち時間を設定します。

11.7 MODBUS クエリー発行

書式

mb query (SLAVE) read_coils (REG) (BITNUM)	Read Coils 実行
mb query (SLAVE) read_discrete_inputs (REG) (BITNUM)	Read Discrete Inputs 実行
mb query (SLAVE) read_holding_registers (REG) (REGNUM)	Read Holding Registers 実行
mb query (SLAVE) read_input_registers (REG) (REGNUM)	Read Input Registers 実行
mb query (SLAVE) write_single_coil (REG) (FLAG)	Write Single Coil 実行
mb query (SLAVE) write_single_register (REG) (VAL)	Write Single Register 実行

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
SLAVE	スレーブ ID (1-247)
REG	開始レジスタアドレス (0-65535)
BITNUM	レジスタ数 (1-2000)
REGNUM	レジスタ数 (1-125)
FLAG	コイル設定値 "on": ON "off": OFF
VAL	レジスタ設定値 (0-65535)

備考

スレーブデバイスに対してクエリーを送信、レスポンスを受信します。read 系のクエリーについては、受信したレジスタ内容を表示します。

シリアルサーバについて

本コマンドでは、本機は MODBUS マスターとして動作します。スレーブデバイスがシリアル側にある場合、本機側がシリアルサーバとして設定されているとクエリーは失敗します。"rsport"コマンドでシリアルサーバを無効化してください。

TCP デバイスに対するクエリー

TCP デバイスに対してクエリーを送信する場合は、"mb slavemap"コマンドで対象デバイスに対してスレーブ番号を対応付けてください。

関連項目

シリアルサーバは「6.7 MODBUS 機能設定」を参照してください。
スレーブ番号対応付けは「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

11.8 診断リクエスト

書式

mb ping (SLAVE) [(COUNT)]	診断リクエスト送信
-----------------------------	-----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明
SLAVE	宛先スレーブ番号 (1-247)
COUNT	リクエストの送信回数 省略時は 4 回

備考

診断ファンクションの"Return Query Data"(サブファンクション=0)を指定スレーブに対して送信し、スレーブからエコーレスポンスあるいは例外レスポンスを受信します。MODBUS リクエストの到達性確認に利用します。応答がタイムアウトする場合は、配線の確認、RS-485 通信パラメータの確認、機器スレーブ番号の確認、スレーブマップ登録の確認を行なってください。

TCP デバイスに対するクエリー

TCP デバイスに対してクエリーを送信する場合は、"mb slavemap"コマンドで対象デバイスに対してスレーブ番号を対応付けてください。

関連項目

スレーブ対応付けは「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

11.9 MODBUS レジスタマップ

書式

mb regmap (LOCALREGNO) (SLAVE) (REMOTEREGNO) (REGNUM) [(INTERVAL)]	レジスタマップ登録
mb regmap (LOCALREGNO) delete	レジスタマップ削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
LOCALREGNO	本機側レジスタ番号 (4001-465536)	未登録
SLAVE	遠隔装置スレーブ番号 (1-247)	未登録
REMOTEREGNO	遠隔側レジスタ番号 (4001-465536) LOCALREGNO と同じ種別のレジスタを指定してください。	未登録
REGNUM	レジスタ数 (1-2000) ビット型のレジスタは 2000 まで、16 ビット型のレジスタは 125 までとなります。	未登録
INTERVAL	ポーリング間隔 (1..86400 秒)	10

レジスタマップ

遠隔装置のレジスタをポーリングし、本機レジスタにコピーします。レジスタマップ機能で使用できる本機側レジスタは次の通りです。レジスタは「レジスタ番号」で指定します。

本機側レジスタ番号	説明
004001..065536	コイルレジスタ (4000..65535)
104001..165536	入力ステータスレジスタ (4000..65535)
304001..365536	入力レジスタ (4000..65535)
404001..465536	保持レジスタ (4000..65535)

レジスタ範囲

1つの設定行で連続した範囲のレジスタをコピーすることができます。

設定行数制限

設定行は 8 行まで登録することができます。各設定行の本機側レジスタ範囲は重複しないようにする必要があります。

遠隔レジスタ

遠隔装置のレジスタは、本機側レジスタと同じ種別の番号を指定してください。INTERVAL で指定した間隔でポーリングします。値の取得に失敗した場合は、本機側レジスタには 0 を設定します。

読み出し専用

レジスタマップで割り当てた本機側レジスタは読み出し専用です。"data"コマンド、"template"コマンドと組み合わせて利用してください。

関連項目

MODBUS レジスタ番号は「14.12 MODBUS レジスタ」を参照してください。

"template"コマンドは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。
"data field"コマンドは「13.1 データ定義」を参照してください。

12 電源監視機能

電源監視機能についてのコマンドを説明します。

12.1 外部電源監視設定

書式

power thresh-ext (THRESH_EXT)	外部電源電圧しきい値設定
-------------------------------	--------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
THRESH_EXT	外部電源電圧しきい値 (5000 . . 35000 ミリボルト)	5000

備考

外部電源電圧を監視し、指定したしきい値を以下になると"vext_low"イベントを発行します。指定したしきい値を超えると"vext_recover"イベントを発行します。イベント発行時の動作は"evcmd"コマンドで設定します。

関連項目

"evcmd"コマンドは「10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録」を参照してください。

12.2 バッテリー電源監視設定

書式

power thresh-batt (THRESH_BATT)	バッテリー電源電圧しきい値設定
---------------------------------	-----------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
THRESH_BATT	0..2: バッテリー容量レベル 2400..3200: バッテリー電源電圧しきい値(ミリボルト)	1

備考

バッテリー電源電圧を監視し、指定したしきい値以下になると"vbatt_low"イベントを発行します。イベント発行時の動作は"evcmd"コマンドで設定します。

しきい値

しきい値はバッテリー容量レベルまたは、電圧値で指定できます。

関連項目

"evcmd"コマンドは「10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録」を参照してください。
バッテリー容量レベルは「14.13 バッテリー容量レベル」を参照してください。

12.3 電源電圧表示

書式

show power	電源電圧表示
------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

表示項目について

項目	説明
PowerSource	利用中電源を外部("External")か、バッテリー("Battery")で示します。 AS-P250 でのみ表示します。
BatteryLevel	バッテリー容量レベル(-1..3) AS-P250 でのみ表示します。
Vbatt	バッテリー電圧(ミリボルト) AS-P250 でのみ表示します。
Vext	外部電源電圧(ミリボルト)

関連項目

バッテリー容量レベルは「14.13 バッテリー容量レベル」を参照してください。

13 データ記録

データ記録についてのコマンドを説明します。

13.1 データ定義

書式

data field (FIELDNO) (FIELDNAME) (FIELDVALUE)	フィールド定義
data field (FIELDNO) delete	フィールド削除
data dest m2mcloud (M2M_CLOUD_FLAG)	M2M クラウド送信フラグ

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
FIELDNO	フィールド番号 (0-15)	未登録
FIELDNAME	フィールド名 (31 文字まで)	未登録
FIELDVALUE	フィールド値 (31 文字まで) 置換キーワードあるいは固定文字列を登録します。	未登録
M2M_CLOUD_FLAG	"off": M2M クラウドへレコードを送らない。 "on": M2M クラウドへレコードを送る。	off

備考

複数フィールドからなるデータレコードを定義します。各フィールドには名前と置換キーワードを設定します。コマンド"data record"を実行すると置換キーワードが現在値で置換されレコードが生成されます。フィールド値が定義されているキーワードでない場合は置換を行わずフィールド値をそのまま出力します。生成されたレコードはコマンド"data dest"で設定した宛先で記録されます。

関連項目

定義されている置換キーワードは「14.14 置換キーワード」を参照してください。
"data record"コマンドは「13.2 データレコード生成」を参照してください。

13.2 データレコード生成

書式

data record	レコード生成
-------------	--------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

コマンド"data field"で定義したレコードを生成します。フィールド値として定義した置換キーワードがコマンド実行時点の値に置換されます。

関連項目

"data field"コマンドは「13.1 データ定義」を参照してください。

13.3 データ表示

書式

show data	データ現在値表示
-----------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-M250/KL AS-M250/NL AS-M250/L AS-P250/KL AS-P250/NL

備考

コマンド"data field"で定義した各フィールドの置換キーワードを現在値で置換して表示します。

関連項目

"data field"コマンドは「13.1 データ定義」を参照してください。

14 付録

14.1 SMS コマンド仕様

メッセージの種別

メッセージの種別を示します。

種別	説明
コマンド	本装置が受信するメッセージです。本文にコマンド文字列を格納します。
レスポンス	本装置が送信するメッセージです。受信したコマンドに応じた通知内容を本文に格納します。 コマンドによってはレスポンスを返信しないものがあります。
イベント通知	本装置が自発的に送信するメッセージです。イベントの発生を通知します。

送信ヘッダ

本装置が送信するメッセージには本文中にヘッダを付加します。ヘッダの書式は、"(YY/MM/DD_HH:mm_SSS)"となります。"YY/MM/DD_HH:mm"は送信日時です。"SSS"は送信毎にカウントする番号です。日が変わると1に戻します。"sms send"コマンドにより送信するメッセージにはヘッダは付けません。

接続/切断コマンド

PPPの接続/切断を行います。

書式	説明
connect (APN)	コマンド PPP 接続を要求します。 APN: APN または接続先登録番号 (0-4)
forceconnect (APN)	コマンド PPP 強制接続を要求します。既に接続中の場合は切断してから指定 APN へ接続させます。 APN: APN または接続先登録番号 (0-4)
disconnect	コマンド PPP 切断を要求します。
connected (APN) (IP)	レスポンス PPP 接続成功を通知します。 APN: 接続先 APN IP: WAN 側 IP アドレス
disconncted (APN) (CAUSE)	レスポンス PPP 切断あるいは接続失敗を通知します。 APN: 接続先 APN CAUSE: 切断要因 "local": 本装置側から切断した場合 "sms": SMS コマンドによる切断 "peer": 相手 PPP 側から切断した場合 "dial": ダイアルエラー

再起動コマンド

本装置の再起動を行います。

書式	説明
restart	コマンド 装置を再起動します。

PPP 状態取得コマンド

PPP 状態を取得します。

書式	説明
statusreq[ppp]	コマンド PPP 状態を要求します。
status disconnected	レスポンス PPP が切断されていることを示します。
status (APN) (IP)	レスポンス PPP が接続中であることを示します。 APN: 接続先 APN IP: WAN 側 IP アドレス

入力/出力接点状態取得コマンド

入力/出力接点状態を取得します。

書式	説明
statusreq dio	コマンド 接点状態を要求します。
status dio (STATUS)	レスポンス 接点状態を通知します。 STATUS: 4 桁数値(iioo) 例: 0000 di0=off di1=off do0=off do1=off 1010 di0=on di1=off do0=on do1=off

入力接点状態取得コマンド

入力接点状態を取得します。

書式	説明
statusreq di (CHANNEL)	コマンド 入力接点状態を要求します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107)
status di (CHANNEL) (STATUS)	レスポンス 入力接点状態を通知します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107) STATUS: "off"または"on"

出力接点状態取得コマンド

出力接点状態を取得します。

書式	説明
statusreq do (CHANNEL)	コマンド 出力接点状態を要求します。

	CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107)
status do (CHANNEL) (STATUS)	レスポンス 出力接点状態を通知します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107) STATUS: "off"または"on"

LAN 情報取得コマンド

LAN 情報を取得します。

書式	説明
statusreq lan	コマンド LAN 情報を要求します。
status lan ip=(IP) mac=(MAC)	レスポンス LAN 情報を通知します。 IP: LAN 側 IP アドレス MAC: MAC アドレス

装置情報取得コマンド

装置情報を取得します。

書式	説明
statusreq product	コマンド 装置情報を要求します。
status product (PRODUCT) (VERSION) S/N=(SERIAL)	レスポンス 装置情報を通知します。 PRODUCT: 本体装置名 VERSION: ファームウェアバージョン SERIAL: シリアル番号

通信モジュール情報取得コマンド

通信モジュール情報を取得します。

書式	説明
statusreq module	コマンド 通信モジュール情報を要求します。
status module imei=(IMEI) revision=(REVISION)	レスポンス 通信モジュール情報を通知します。 IMEI: IMEI 番号 REVISION: バージョン情報

位置情報取得コマンド

緯度、経度を取得します。

書式	説明
statusreq gps	コマンド 位置情報を要求します。
status gps (LAT), (LON)	レスポンス

	位置情報を通知します。 LAT: 緯度 LON: 経度
--	-----------------------------------

出力接点制御

出力接点を制御します。

書式	説明
do (CHANNEL) (CTRL) [(HOLD)]	コマンド 出力接点の制御を要求します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107, *) CTRL: 制御 (on/off/reset) HOLD: パルス出力時間 (1-300000msec)
done (CMD)	レスポンス 接点制御完了を通知します。 CMD: コマンド内容

E メール送信要求

E メールを事前設定してある宛先に送るよう要求します。

書式	説明
mail show (CMD)	コマンド E メール送信を要求します。 CMD: メール内容 "config": 設定データ "log": ログデータ "all": 技術サポート情報

Wake on LAN 要求

Wake on LAN マジックパケットの送信を要求します。

書式	説明
wol send (MAC) [(IP) [(PORT)]]	コマンド マジックパケットを送信を要求します。 MAC: 対象 MAC アドレス IP: 宛先 IP PORT: 宛先ポート

SMS 通知停止

SMS 通知の送信を一時的に停止させます。

書式	説明
pause (FLAG)	コマンド SMS 通知の停止/解除を指示します。 FLAG: "on"=停止、"off"=解除

入力接点変化の通知

入力接点変化を通知します。

書式	説明
notify di (CHANNEL) (STATUS)	イベント通知 入力接点変化があったことを示します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107) STATUS: "off"または"on"

モバイル使用量しきい値超過通知

モバイル使用量がしきい値を超えたことを通知します。

書式	説明
notify wanthresh ((KBYTES) kbytes since YY/MM/DD)	イベント通知 モバイル使用量がしきい値を超えたことを示します。 KBYTES: 使用量 (kbytes)

モバイル使用量月次報告

モバイル使用量の月間使用量を通知します。

書式	説明
notify wanreport ((KBYTES) kbytes since YY/MM/DD)	イベント通知 モバイル使用量の月間使用量を通知します。 KBYTES: 使用量 (kbytes)

WAN キープアライブ失敗通知

WAN キープアライブが失敗したことを通知します。

書式	説明
notify keepalivefailure domain=(DOMAINID) target=(TARGET)	イベント通知 WAN キープアライブが失敗したことを通知します。 DOMAINID: 接続先登録番号 TARGET: PING 送信先ホストの IP または FQDN

14.2 イベントメールデフォルト件名

デフォルト件名

イベントメールにおけるデフォルト件名は以下のとおりです。

イベント	デフォルト件名
di0on	di0 on
di0off	di0 off
di1on	di1 on
di1off	di1 off
di100on	di100 on
di100off	di100 off
di101on	di101 on
di101off	di101 off
di102on	di102 on
di102off	di102 off
di103on	di103 on
di103off	di103 off
di104on	di104 on
di104off	di104 off
di105on	di105 on
di105off	di105 off
di106on	di106 on
di106off	di106 off
di107on	di107 on
di107off	di107 off
wanthresh	wanthresh
wanreport	wanreport
showconfig	show config
showlog	show log
showall	show all
keepalivefailure	keepalive failure
pppconnected	PPP connected

備考

件名は設定により変更できます。

関連項目

件名変更は「5.3 イベント設定」を参照してください。

14.3 イベントメール本文

メール本文

イベントメールにおける本文は以下のとおりです。

イベント	本文
di0on	(TIMESTAMP) di0 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di0off	(TIMESTAMP) di0 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di1on	(TIMESTAMP) di1 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di1off	(TIMESTAMP) di1 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di100on	(TIMESTAMP) di100 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di100off	(TIMESTAMP) di100 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di101on	(TIMESTAMP) di101 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di101off	(TIMESTAMP) di101 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di102on	(TIMESTAMP) di102 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di102off	(TIMESTAMP) di102 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di103on	(TIMESTAMP) di103 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di103off	(TIMESTAMP) di103 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di104on	(TIMESTAMP) di104 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di104off	(TIMESTAMP) di104 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di105on	(TIMESTAMP) di105 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di105off	(TIMESTAMP) di105 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di106on	(TIMESTAMP) di106 on TIMESTAMP: イベント発生日時

di106off	(TIMESTAMP) di106 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di107on	(TIMESTAMP) di107 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di107off	(TIMESTAMP) di107 off TIMESTAMP: イベント発生日時
wanthresh	(TIMESTAMP) wantresh((KBYTES) kbytes since (STARTDATE)) TIMESTAMP: イベント発生日時 KBYTES: 送受信量(kbytes) STARTDATE: カウント開始日
wanreport	(TIMESTAMP) wanreport((KBYTES) kbytes since (STARTDATE)) TIMESTAMP: イベント発生日時 KBYTES: 送受信量(kbytes) STARTDATE: カウント開始日
showconfig	("show config"の出力内容)
showlog	("show log"の出力内容)
showall	("show all"の出力内容)
keepalivefailure	(TIMESTAMP) keepalivefailure domain=(0-4) target=(TARGET) TIMESTAMP: イベント発生日時 0-4: 接続先登録番号 TARGET: PING 送信先ホストの IP または FQDN
pppconnected	(TIMESTAMP) pppconnected domain=(0-4) ipaddress=(IP) TIMESTAMP: イベント発生日時 0-4: 接続先登録番号 IP: WAN 側 IP アドレス

備考

本文付加文字列設定を行っている場合は、上記本文の前に付加します。

備考 2

本文付加文字列設定にテンプレートを使用する場合は、上記本文は送信されません。

関連項目

本文付加文字列は「5.3 イベント設定」を参照してください。

14.4 RAM ディスク

RAM ディスクについて

本装置は起動時に RAM ディスクを作成します。サイズは 16MBytes です。主にパケットキャプチャで利用します。格納しているファイルは電源断あるいは再起動時に消えます。ファイルは Web 管理画面経由でダウンロードできます。

関連項目

パケットキャプチャは「9.6 パケットキャプチャの実行」を参照してください。
技術サポート情報の保存は「9.2 技術サポート情報の保存」を参照してください。
ファイル削除は「9.3 ファイルの削除」を参照してください。
ファイル一覧表示は「9.4 ファイル一覧表示」を参照してください。

14.5 ファイル作成

作成するファイル名

装置が作成するファイル名は以下のとおりです。

種別	ファイル名
ログファイル	CURRENT.LOG
設定ファイル	CURRENT.CFG
技術サポート情報ファイル	CURRENT.TSP
パケットキャプチャファイル	CURRENT.CAP
データファイル	CURRENT.DAT

ファイルバックアップ

装置がファイルを作成しようとした時に、出力先ディレクトリに同じ名前のファイルが存在していた場合、既存ファイルの名前を次のように変更します。

ファイル名書式	説明
YYMMDDSS.(EXT)	YYMMDD: 元のファイルの作成日付 (YY:年 (00-99), MM:月 (01-12), DD:日 (01-31)) SS: バックアップファイル名が重複しないようにする連番です。00 が一番古く数字が増える毎に新しくなります。 EXT: 元のファイルの拡張子

ファイルローテート

ログファイル、パケットキャプチャファイルについては書き込み中のファイル("CURRENT.*")のサイズが一定サイズを超えた場合、上記要領でファイルをバックアップします。新しくファイル("CURRENT.*")を作成して記録を続けます。ローテートを行うサイズは次のとおりです。

種別	サイズ
ログファイル	256 KBytes
パケットキャプチャファイル	2 MBytes

保存世代数

バックアップファイル数が一定個数を超えた場合、一番古いファイルを削除します。個数は次のとおりです。

種別	個数
ログファイル	30
設定ファイル	5
技術サポート情報ファイル	RAM ディスクの場合: 5
パケットキャプチャファイル	RAM ディスクの場合: 5
データファイル	RAM ディスクの場合: 5

14.6 アンテナログの出力形式

アンテナログ出力形式

アンテナログはアンテナレベルなどの情報を定期的にログ出力する機能です。出力する内容は機種によって異なります。

機種	出力形式
AS-M250/KL, AS-P250/KL	antenna=(ANT) network=(NETWORK) ppp=(PPP)
AS-M250/NL, AS-P250/KL	LTE 接続時: antenna=(ANT) rat=LTE rssi=(RSSI) band=(BAND_NUM) rsrp=(RSRP) rsrq=(RSRQ) network=(NETWORK) ppp=(PPP) WCDMA 接続時: antenna=(ANT) rat=WCDMA rssi=(RSSI) band=(BAND_NUM) rscp=(RSCP) ecio=(ECIO) network=(NETWORK) ppp=(PPP)

値

値について以下に説明します。

値	説明
ANT	現在のアンテナレベルを示します。
BAND_NUM	利用中の周波数帯を番号で示します。 値が0の場合、周波数帯取得に失敗したことを示します。 AS-M250/NL, AS-P250/NL で表示します。
RSCP	RSCP (希望波受信電力) 値を示します。 AS-M250/NL, AS-P250/NL で表示します。
ECIO	Ec/Io (希望信号電力対干渉電力比) 値を示します。 AS-M250/NL, AS-P250/NL で表示します。
NETWORK	"not_registered": 未登録 "registered": 登録済み(圏内) "searching": 検索中 "denied": 登録拒否 "unknown": 不明 "registered(roaming)": 登録済み(国際ローミング)
PPP	"offline": PPP 切断中 "online(rx=(RX), tx=(TX))": PPP 接続中 RX: PPP 受信フレーム数(接続確立してからの累積) TX: PPP 送信フレーム数(接続確立してからの累積)
RSSI	RSSI (受信信号強度) 値を示します。 AS-M250/NL, AS-P250/NL で表示します。
RSRP	RSRP (基準信号受信電力) 値を示します。 AS-M250/NL, AS-P250/NL で表示します。
RSRQ	RSRQ (基準信号受信品質) 値を示します。 AS-M250/NL, AS-P250/NL で表示します。

14.7 OTA 実施

AS-M250/KL, AS-P250/KL における OTA 機能について説明します。

SIM について

AS-M250/KL, AS-P250/KL では、モジュール内蔵 SIM および外部 SIM(SIM カードスロット)のいずれかを選択して利用します。外部 SIM の利用を優先するので、内蔵 SIM を利用する場合は SIM カードスロットにカードを挿入しないでください。

OTASP 実施

SIM カードあるいは内蔵 SIM を初めて利用する場合は回線利用開始手続き(OTASP)を行う必要が有ります。OTASP は網経由で SIM 状態を変更します。アンテナを接続して telnet コマンドラインより "ota sp" コマンドを実行してください。処理の途中で装置は再起動します。

> show module sim	SIM 情報の確認
SIM : External	←外部 SIM 選択中
ICCID : XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
ROM : Gray	←灰 ROM であること
> ota sp	OTASP 実施
Waiting for response...	
OTASP1	
OTASP2	
OTASP3	
OTASP4	
System will reboot.	
Connection closed by foreign host.	←TELNET 強制切断
しばらくして装置は再起動します。	

OTASP 処理中の LED 表示

"ota sp" コマンド投入後、AntennaLED と SessionLED によって状態表示を行います。

状態	LED 表示
OTASP1 から OTASP4 まで	AntennaLED および SessionLED が赤点滅
再起動中	AntennaLED および SessionLED が消灯
処理完了まで	AntennaLED および SessionLED が赤点滅
処理完了後	AntennaLED, SessionLED は通常表示(それぞれアンテナレベルと PPP 接続状態を表示)

OTASP 処理結果確認

AntennaLED および SessionLED が通常表示となったのを確認してから TELNET ログインしてログを参照してください。

> show log	ログ表示
...	
123 2014/11/11 16:00:10 (-1) FutureNet System Starting...	
124 2014/11/11 16:00:11 (-1) On-demand connect mode.	

```

125 2014/11/11 16:00:12 (-1) waiting for OTA complete.      ←OTA 完了待ち
126 2014/11/11 16:00:12 (-1) OTASPOK                      ←OTASP 完了
...
> show module sim                                         SIM 情報の確認
SIM           : External
ICCID        : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
ROM          : Black                                       ←黒 ROM であること
    
```

OTAPA

回線解約処理(OTAPA)は網側から行われます。回線解約申込みをしたあと装置を圏内状態で通電しておいてください。

```

> show log                                               ログ表示
...
223 2014/11/11 17:00:39 (5) OTAPAST                       ←OTAPA 開始
224 2014/11/11 17:00:40 (5) OTAPA1
225 2014/11/11 17:01:07 (5) OTAPA2
226 2014/11/11 17:01:08 (5) OTAPA3
227 2014/11/11 17:01:54 (5) OTAPA4
228 2014/11/11 17:01:54 (5) OTAPAOK                       ←OTAPA 完了
...
    
```

関連項目

ota コマンドは「3.31 OTA 実施」を参照してください。

14.8 省電力動作モード

省電力動作モード仕様について説明します。

動作モードの種別

省電力動作モードには次の 2 種類があります。種別は"powersaving mode"コマンドで選択します。

種別	説明
ローカル省電力モード	通信モジュールを含め装置全体を停止するモードです。ローカルイベント (DI 変化、Wakeup スイッチ、スケジュール) による復帰ができます。 リモート省電力モードより消費電力が低くなりますが、復帰により時間がかかります。
リモート省電力モード	通信モジュールを稼働したまま、他の回路を停止するモードです。上記ローカルイベントに加え、WAN 側からの IP 着信や、SMS 受信により復帰ができます。 ローカル省電力モードより消費電力が高くなりますが、復帰はより短時間で済みます。

省電力動作モードへの移行

次の条件がそろえば省電力動作モードへ移行します。"standby"コマンドによる強制モード移行の場合は、下記条件は無視します。

- 省電力モードが有効化されている。("powersaving activate"コマンド)
- PPP 待ち受け状態が指定期間経過した。("powersaving idletimer"コマンド)
- TELNET 接続中でない。
- メール送信中でない。
- シリアル/TCP 変換機能の TCP 接続中でない。
- 接点パルス出カタイマが動作していない。
- 1分以内にスケジュール実行予定がない。
- HTTP POST/PUT クライアントがレスポンス待ち、再送中でない。

省電力動作モードからの復帰

復帰のトリガーは次のとおりです。

- Wakeup スイッチ ON
- DI OFF→ON ("di"コマンドによる設定要)
- DI ON→OFF ("di"コマンドによる設定要)
- IP 着信(AS-M250/KL, AS-P250/KL, リモート省電力モード)
- SMS 受信(AS-M250/NL, AS-P250/NL, リモート省電力モード)
- スケジュール実施時刻になった

関連項目

powersaving コマンドは「8 省電力動作モード」を参照してください。

強制モード移行は「8.3 強制的に省電力動作モードへ移行する」を参照してください。

14.9 テンプレートの利用

テンプレートの利用

テンプレートは以下の機能で利用することができます。

- HTTP POST/PUT クライアント機能のリクエスト本文
- log output コマンド
- evcmd コマンド
- schedule コマンド
- delay コマンド
- mail event コマンド

応用例 1

外部 HTTP サーバへ入力接点変化を通知する設定を示します。

> template 0 '["timestamp":"\${NOW}", "di0":"\${DIO}"]'	POST 本文内容登録
> evcmd 0 di0on wpost http://test.example/post none template:0	DIO ON 変化時に POST 送信
> evcmd 1 di0off wpost http://test.example/post none template:0	DIO OFF 変化時に POST 送信

応用例 2

各種状態を定期的にログ出力する設定を示します。

> template 0 '\${ANT}, \${WANXCNT}, \${WANTXCNT}'	アンテナ値、モバイル通信量
> schedule 0 *:*:*:* log output template:0	1 分毎にログ出力

応用例 3

DI 変化時にメールを送信する設定を示します。件名と本文にテンプレートを使用します。

> mail server 0 smtp mail.example.test 587	
> mail server 0 auth smtp userid password	
> mail peer 0 user@example.test	
> mail peer 0 di0on on	
> mail event di0on subject template:0	件名にテンプレート 0 番を使用
> mail event di0on message template:1	本文にテンプレート 1 番を使用
> template 0 'from AS-250 (\${SERIAL})'	件名にシリアル番号を埋め込む
> template 1 時刻=\${NOW} \${BL}DIO=\${DIO}	本文に時刻と DIO 状態を埋め込む

関連項目

- template コマンドは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。
- HTTP POST クライアントは「4.16 HTTP POST クライアント」を参照してください。
- HTTP PUT クライアントは「4.17 HTTP PUT クライアント」を参照してください。
- log output コマンドは「10.32 ログの出力」を参照してください。
- evcmd コマンドは「10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録」を参照してください。
- schedule コマンドは「10.12 スケジュール」を参照してください。
- delay コマンドは「10.34 コマンドの遅延実行」を参照してください。

14.10 ダイナミック DNS

WarpLink DDNS

WarpLink DDNS は弊社が提供するダイナミック DNS サービスです。"ddns"コマンドにより設定して利用します。利用には申込みが必要です。サービス詳細については弊社営業部までお問い合わせください。

その他の DDNS サービス

その他の DDNS サービスについては、HTTP リクエストにより更新する方式のものであれば利用できる可能性が有ります。以下いくつかのサービスにおける設定例を示します。PPP 接続完了イベント発生時に、HTTP リクエストを送信します。設定例中の URL は 2015 年 2 月現在のものです。

DynDNS

```
evcmd 0 pppconnected wget http://members.dyndns.org/nic/update?hostname=(登録した FQDN) basic:(ユーザー名):(パスワード) none 5 5
```

MyDNS

```
evcmd 0 pppconnected wget http://www.mydns.jp/login.html basic:(ユーザー名):(パスワード) none 5 5
```

関連項目

WarpLink DDNS の設定は「4.15 DDNS クライアント」を参照してください。

イベント発生時のコマンド登録は「10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録」を参照してください。

HTTP GET リクエストは「4.18 HTTP GET クライアント」を参照してください。

14.11 MODBUS 実装仕様

サポートするファンクション

本機がスレーブとして動作する場合、次のファンクションに対して応答します。

ファンクション番号	説明
1	コイル読み出し (Read Coils)
2	入力ステータス読み出し (Read Discrete Inputs)
3	保持レジスタ読み出し (Read Holding Registers)
4	入力レジスタ読み出し (Read Input Registers)
5	単一コイル書き込み (Write Single Coil)
6	単一保持レジスタ書き込み (Write Single Register)
8	診断 (Diagnostics) サブファンクション=0 (Return Query Data) のみ実装しています。
15	複数コイル書き込み (Write Multiple Coils)

MODBUS/TCP ユニット ID

TCP サーバが受信したクエリーは、MBAP ヘッダ内のユニット ID によって動作が変わります。

ユニット ID	動作
0 または 255	本機宛のクエリーとみなし、本機レジスタの参照/制御を行い、レスポンスを TCP クライアントへ送信します。
上記以外	本機につながっているスレーブデバイス宛とみなし、スレーブデバイスに対してクエリーを転送します。スレーブデバイスから受信したレスポンスを TCP クライアントへ送信します。 宛先スレーブデバイスは、スレーブマップ ("mb slavemap" コマンド) で決定します。

関連項目

スレーブマップは「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

14.12 MODBUS レジスタ

コイル

コイル一覧を示します。コイルでは、1ビットの読み書きができます。主に接点出力の制御、状態の取得に用います。

レジスタアドレス	説明
0-1	接点出力 0-1 1: ON 0: OFF
100-107	仮想接点入力 100-107 1: ON 0: OFF
4000-65535	レジスタマップ用領域

入カステータス

入カステータス一覧を示します。入カステータスでは、1ビット値の読み込みができます。書き込みはできません。接点入力の状態取得に用います。

レジスタアドレス	説明
0-1	接点入力 0-1 1: ON 0: OFF
4000-65535	レジスタマップ用領域

保持レジスタ

保持レジスタ一覧を示します。保持レジスタでは 16 ビット値の読み書きができます。

レジスタアドレス	説明
4000-65535	レジスタマップ用領域

入力レジスタ

入力レジスタ一覧を示します。入力レジスタでは 16 ビット値の読込ができます。書き込みはできません。

レジスタアドレス	説明
4000-65535	レジスタマップ用領域

レジスタアドレスとレジスタ番号

レジスタ番号は、上記 4 種類のレジスタを 1 つの空間に割り当てた表記方法です。表記方法に 5 桁表記と 6 桁表記があります。

レジスタ番号 5 桁表記

番号下 4 桁から 1 を引いた値がレジスタアドレスになります。レジスタ 9999 以降を表示したい場合は 6 桁表記を使用してください。

レジスタ番号	レジスタアドレス
1-9999	コイルレジスタ 0-9998
10001-19999	入カステータスレジスタ 0-9998
30001-39999	入力レジスタ 0-9998
40001-49999	保持レジスタ 0-9998

レジスタ番号 6 桁表記

番号下 5 桁から 1 を引いた値がレジスタアドレスになります。100000 未満の番号を表示する場合は、5 桁表記と区別するために 0 でパディングしてください。例: 000101

レジスタ番号	レジスタアドレス
000001-065536	コイルレジスタ 0-65535
100001-165536	入力ステータスレジスタ 0-65535
300001-365536	入力レジスタ 0-65535
400001-465536	保持レジスタ 0-65535

14.13 バッテリー容量レベル

バッテリー容量レベル

バッテリー容量レベルは、バッテリー電圧に応じて-1 から 3 の値を対応付けたものです。

レベル	説明
3	2.8 ボルト超過 バッテリーレベル LED は緑点灯となります。
2	2.6 ボルト超過 バッテリーレベル LED は緑点滅となります。
1	2.4 ボルト超過 バッテリーレベル LED は赤点滅となります。
0	2.4 ボルト以下 バッテリーレベル LED は赤点灯となります。
-1	1 ボルト以下 バッテリーレベル LED は消灯となります。 外部電源稼働中かつバッテリー未接続状況です。

14.14 置換キーワード

キーワードの利用

キーワードは"template"コマンド、"data field"コマンドで利用することができます。"template"コマンドで利用する場合はキーワードの前に"\${"を、後ろに"}"を付加してください。例: \${ANT}

template,data コマンドで利用できるキーワード

次のキーワードは"template"コマンドおよび"data"コマンドで利用できます。

キーワード	説明
ANT	アンテナレベル(-1..5)に置換します。
BATTLELEVEL	バッテリー容量レベル(0..3)に置換します。 AS-P250 で利用できます。
DIO	接点入力 0 の状態("off"/"on")に置換します。
DI1	接点入力 1 の状態("off"/"on")に置換します。
D00	接点出力 0 の状態("off"/"on")に置換します。
D01	接点出力 1 の状態("off"/"on")に置換します。
DI100..DI107	仮想接点入力 100-107 の状態("off"/"on")に置換します。
D0100..D0107	仮想接点出力 100-107 の状態("off"/"on"/"fail")に置換します。
FIRMVER	稼働中のファームウェアバージョンに置換します。 例: v2.2.0build1
HOSTNAME	ホスト名に置換します。
LAT	緯度に置換します。 GPS 非対応、GPS 機能無効、アンテナ未接続、未測位の場合は空文字となります。
LON	経度に置換します。 GPS 非対応、GPS 機能無効、アンテナ未接続、未測位の場合は空文字となります。
MACADDR	イーサネット MAC アドレスに置換します。 例: 00:80:6d:7a:c0:0a
MB_(MODBUS レジスタ番号) [(修飾子)]	<p>本装置の MODBUS レジスタ値を 10 進数で置換します。 入力レジスタと保持レジスタについては、修飾子で長さや符号を指定できます。省略すると符号付き 16 ビット値となります。</p> <p>修飾子:</p> <ul style="list-style-type: none"> "h": 符号付き 16 ビット値 "H": 符号なし 16 ビット値 "l": 符号付き 32 ビット値 "L": 符号なし 32 ビット値 "q": 符号付き 64 ビット値 "Q": 符号なし 64 ビット値 <p>例: レジスタ番号 10001 (DIO に対応するレジスタ)</p>

	キーワード=MB_10001 値=0 または 1 例: レジスタ番号 34001, 34002 を符号なし 32 ビット値で参照 キーワード=MB_34001, L 値=0 から 4294967295
MEMO	"memo"コマンドで設定した備考文字列に置換します。
NOW	現在時刻に置換します。 例: 2014/12/12-18:45:30
PRODUCT	製品名に置換します。 例: AS-M250/KL
SERIAL	装置シリアル番号に置換します。 例: 10230199999
VBATT	バッテリー電圧値(ミリボルト)に置換します。 AS-P250 で利用できます。
VEXT	外部電圧値(ミリボルト)に置換します。
WANIP	WAN 側 IP アドレスに置換します。 未接続の場合は、"0.0.0.0"となります。
WANRXCNT	モバイル受信バイト数に置換します。キロバイト単位です。 モバイル通信量カウンタが停止している場合は0となります。
WANTXCNT	モバイル送信バイト数に置換します。キロバイト単位です。 モバイル通信量カウンタが停止している場合は0となります。

template コマンドで利用できるキーワード

次のキーワードは"template"コマンドでのみ利用できます。

キーワード	説明
BL	改行コード(CRLF)に置換します。
CR	改行コード(CR)に置換します。
DOLLER	'\$'に置換します。
LF	改行コード(LF)に置換します。
QUOTE	シングルクォートに置換します。
show (show コマンド引数)	"show"コマンドの出力内容に置換します。
TAB	タブコード(0x09)に置換します。

関連項目

"template"コマンドは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

"data field"コマンドは「13.1 データ定義」を参照してください。

MODBUS レジスタ番号は「14.12 MODBUS レジスタ」を参照してください。

コマンド一覧

adjustclock (FUNCTION)	135
alwaysonconnect activate (FLAG)	32
alwaysonconnect domainname (DOMAINNAME).....	32
autoreboot activate (FLAG)	131
autoreboot time (HH)[::(MM)].....	131
clear (TARGET).....	145
clr	140
config load (DISK):(FILENAME)[(TIMEOUT)]	161
config load (URL)[(AUTH)[(TIMEOUT)]].....	161
connect[(DOMAINID)]	29
copy config (DEST)	117
copy config temporary[(TIMEOUT)].....	117
copy tech-support (DEST)	118
data dest m2mcloud (M2M_CLOUD_FLAG).....	179
data field (FIELDNO) (FIELDNAME) (FIELDVALUE)	179
data field (FIELDNO) delete.....	179
data record	180
ddns activate (FLAG)	77
ddns domain (DOMAINID).....	77
ddns firmupdate (FIRMUPDATE)	77
ddns password (PASS)	77
ddns periodic (PERIODIC).....	77
ddns regip (REGIP)	77
ddns userid (USER).....	77
delay (DELAYID) (TIMEOUT) (COMMAND).....	162
delay (DELAYID) cancel	162
delete file (DISK):(FILENAME)	119
dhcp activate (FLAG).....	68
dhcp client (ID) (MAC) (IPADDRESS).....	70
dhcp client (ID) delete	70
dhcp gateway (GATEWAY).....	68
dhcp leasetime (LEASETIME)	68
dhcp mask (MASK).....	68
dhcp noofip (NOOFIP).....	68
dhcp pridns (DNSSERV).....	68
dhcp secdns (DNSSERV)	68
dhcp startip (STARTIP).....	68
dhcp wins (WINS).....	68
di (CHANNEL) debounce (TIME).....	107
di (CHANNEL) powerontrigger (FLAG)	107
di (CHANNEL) powerontrigger2 (FLAG)	107
dig (NAME).....	152
disconnect	30
dnscache clear	76
dnscache hostttl (TTL).....	72
dnscache ttlmanualmode (TTLMODE)	74
dnscache ttlsetting (TTLMIN) (TTLMAX)	74
dnsrelay activate (FLAG)	71
dnsrelay clear serverdomain.....	71
dnsrelay primarydns (DNSSERV).....	71
dnsrelay secondarydns (DNSSERV)	71

dnsrelay serverdomain (DOMAIN).....	71
dnsrelay serverpolicy (POLICY).....	71
do (CHANNEL) initialctrl (INIT).....	108
do (CHANNEL) map delete.....	111
do (CHANNEL) map modbus (SLAVE) (REGISTER)[(COUNT)[(INTERVAL)]]	111
do (CHANNEL) off[(HOLD)]	109
do (CHANNEL) on[(HOLD)].....	109
do (CHANNEL) powersaving (POWERSAVING).....	108
do * (CTRL)[(HOLD)]	109
domain (DOMAINID) (APN) (USER) (PASS) (DEST) (WANIP)	28
domain (DOMAINID) delete.....	28
domain (DOMAINID) keepalive host (DEST)[(COUNT)[(INTERVAL)]]	33
domain (DOMAINID) keepalive onfailure (ACTION)	33
domain (DOMAINID) pdptype (PDPTYPE).....	28
domain (DOMAINID) pppauth (PPPAUTH).....	28
dump (INTERFACE) (DEST)[(SNAPLEN)[(MAXCOUNT)]].....	122
dump stop	122
evcmd (EVCMDID) (EVENT) (COMMAND).....	157
evcmd (EVCMDID) delete	157
filter (ID) (ACT) (DIR) (SIP) (DIP) (PROTO) (SPORT) (DPORT) ppp1	24
filter (ID) delete.....	24
firmware update (URL)[(AUTH)[md5:(MD5 URL)]].....	148
flag menutimeout (TIMER)	64
hostfile (ID) (HOSTNAME) (IPADDRESS).....	72
hostfile (ID) delete.....	72
hostname (HOSTNAME)	153
http-server https (HTTPS_FLAG).....	66
http-server httpsport (HTTPS_PORT).....	66
http-server port (HTTP_PORT)	66
interface (DOMAINID) (CONF)[(PEERIP)].....	25
ipdialin (DOMAINID) (FLAG)	35
log clear	143
log output (LEVEL) (MESSAGE)	160
log output template:(TEMPLATEID).....	160
m2mcloud connect	85
m2mcloud connecttrigger (TRIGGER)	83
m2mcloud disconnect	85
m2mcloud inactivitytimer (TIMER).....	83
m2mcloud password[(PASSWORD)]	83
m2mcloud termid[(TERMID)].....	83
m2mcloud userid[(USERID)]	83
mail event (EVENT) message[(MESSAGE)]	90
mail event (EVENT) subject[(SUBJECT)].....	90
mail peer (PEERID) (MAILADDRESS)	88
mail peer (PEERID) delete	88
mail peer (PEERID) notify (EVENT) (FLAG)[server (SERVERID)].....	88
mail server (SERVERID) auth (AUTHTYPE)[(USER) (PASS)]	87
mail server (SERVERID) delete	87
mail server (SERVERID) fromaddress[(MAILADDRESS)].....	87
mail server (SERVERID) pop[(POPSERVER)[(POPPORT)]].....	87
mail server (SERVERID) smtp (SMTPSERVER)[(SMTPPORT)].....	87
mail server (SERVERID) ssl (SSLFLAG).....	87

mail show (KIND).....	91
main gateway (GATEWAY).....	11
main ip (IPADDRESS).....	10
main mask (NETMASK).....	10
main packetforwarding (FLAG).....	34
main password (PASSWORD).....	126
mb ping (SLAVE)[(COUNT)].....	171
mb query (SLAVE) read_coils (REG) (BITNUM).....	170
mb query (SLAVE) read_discrete_inputs (REG) (BITNUM).....	170
mb query (SLAVE) read_holding_registers (REG) (REGNUM).....	170
mb query (SLAVE) read_input_registers (REG) (REGNUM).....	170
mb query (SLAVE) write_single_coil (REG) (FLAG).....	170
mb query (SLAVE) write_single_register (REG) (VAL).....	170
mb regmap (LOCALREGNO) (SLAVE) (REMOTEREGNO) (REGNUM)[(INTERVAL)].....	172
mb regmap (LOCALREGNO) delete.....	172
mb responsedelay (DELAY).....	168
mb responsetimer (TIMER).....	169
mb slavemap (SLAVE) delete.....	164
mb slavemap (SLAVE) rs1[(REAL_SLAVE)].....	164
mb slavemap (SLAVE) ssl (SSL_HOST)[(UNIT_ID)].....	164
mb slavemap (SLAVE) tcp (TCP_HOST)[(UNIT_ID)].....	164
mb ssl-server (FLAG).....	167
mb ssl-server port (PORT).....	167
mb tcp-client inactivitytimer (TIMER).....	165
mb tcp-client keepalive (KEEPALIVETIME) (INTERVAL) (RETRY).....	165
mb tcp-server (FLAG).....	166
mb tcp-server inactivitytimer (TIMER).....	166
mb tcp-server keepalive (KEEPALIVETIME) (INTERVAL) (RETRY).....	166
mb tcp-server port (PORT).....	166
memo[(MEMO)].....	139
module carrier (CARRIERNAME).....	61
module dialfailrestart (FLAG)[(COUNT)].....	55
module gps (FLAG).....	51
module gpsdomain (DOMAINID).....	52
module gpsmode (MODE).....	52
module gpspowersaving (FLAG).....	53
module ipupfailrestart (FLAG)[(COUNT)].....	55
module logantenna (INTERVAL).....	47
module rat (RAT).....	48
module update start.....	60
nat (ID) (PRIVATEIP) (PROTO) (PORT) ipcp[(PORTFORWARD)].....	18
nat (ID) delete.....	18
natsession clear.....	23
natsession tcp inactivitytimer (TIMER).....	20
oosreset activate (FLAG).....	56
oosreset time (TIMER).....	56
ota sp.....	59
ping [-t] [-n (COUNT)] [-l (SIZE)] [-w (TIMEOUT)] (DEST).....	151
power thresh-batt (THRESH_BATT).....	176
power thresh-ext (THRESH_EXT).....	175
powersaving activate (FLAG).....	113
powersaving idletimer (TIMER).....	113

powersaving mode (MODE).....	113
ppp_interval (TIMER).....	38
quit	65
reboot[module].....	130
restart.....	129
route (ID) (DESTINATION) (GATEWAY) (METRIC).....	12
route (ID) delete	12
rshttp 1 authentication (AUTHTYPE).....	103
rshttp 1 contenttype (CONTENTTYPE).....	103
rshttp 1 delimiter (DELIMITER)	103
rshttp 1 messagesize (MESSAGESIZE).....	103
rshttp 1 messagetimer (MESSAGETIMER)	103
rshttp 1 method (METHOD).....	103
rshttp 1 password (PASSWORD).....	103
rshttp 1 retrycount (RETRYCOUNT)	103
rshttp 1 retryinterval (RETRYINTERVAL)	103
rshttp 1 senddelimiter (SENDDELIMITER).....	103
rshttp 1 serverurl (URL)	103
rshttp 1 token (TOKEN)	103
rshttp 1 useddelimiter (USEDELIMITER)	103
rshttp 1 username (USER)	103
rsport 0 downpacketmonitor (DOWN).....	36
rsport 0 forcedtimeout (TIMER).....	37
rsport 0 inactivitytimer (TIMER).....	36
rsport 0 lcpkeepalive (FLAG)	39
rsport 0 lcpkeepaliveinterval (INTERVAL).....	39
rsport 0 lcpkeepaliveretry (COUNT).....	39
rsport 0 uppacketmonitor (UP).....	36
rsport 1 baudrate (BAUDRATE).....	94
rsport 1 bufferclear (BUFFERCLEAR).....	97
rsport 1 connectaddress (CONNECTADDRESS).....	97
rsport 1 connectaddress2 (CONNECTADDRESS2)	97
rsport 1 connectport (CONNECTPORT).....	97
rsport 1 connectport2 (CONNECTPORT2).....	97
rsport 1 connecttimeout (CONNECTTIMEOUT).....	97
rsport 1 connecttrigger (CONNECTTRIGGER)	97
rsport 1 convmode (CONVMODE).....	95
rsport 1 databits (DATABITS).....	94
rsport 1 disconnectdelimiter (DELIMTER)	97
rsport 1 disconnecttrigger (DISCONNECTTRIGGER).....	97
rsport 1 duplex (DUPLEX).....	94
rsport 1 forcedtimeout (FORCEDTIMEOUT).....	97
rsport 1 inactivitytimer (INACTIVITYTIMER)	97
rsport 1 modbus server (FLAG).....	101
rsport 1 modbus slaveid (SLAVE)	101
rsport 1 mode (MODE).....	93
rsport 1 parity (PARITY).....	94
rsport 1 rxidletime (RXIDLETIME).....	95
rsport 1 scpcport (SCPCPORT)	97
rsport 1 senddelimiter (SENDDELIMITER).....	97
rsport 1 tcpkeepalive (ONOFF).....	95
rsport 1 tcpkeepaliveinterval (INTERVAL).....	95

rsport 1 tcpkeepaliveprobes (COUNT)	95
rsport 1 tcpkeepalivetime (TIME)	95
rsport 1 terminator (TERMINATOR).....	94
rsport 1 transparent (TRANSPARENT)	97
rsport 1 udpdestination (DESTINDEX) (DESTHOST)[(DESTPORT)].....	99
rsport 1 udpdestination (DESTINDEX) delete.....	99
rsport 1 udpsrcport (SRCPORT)	99
rsport closetimeout (CLOSETIMEOUT).....	97
rsport scfcport (SCFCPORT).....	100
rtcstart (DATETIME).....	132
schedule (ID) (HOUR):(MIN) (DAY) (MON)[(COMMAND)]	137
schedule (ID) delete.....	137
show all.....	127
show antenna.....	49
show arp.....	14
show config.....	141
show config source	141
show data	181
show dhcp.....	69
show di[(CHANNEL)]	110
show dnscache.....	75
show do[(CHANNEL)].....	110
show dump.....	123
show etherr.....	15
show ethport.....	26
show file (DISK):(FILENAME)[(COUNT)]	121
show file list (DISK):*(.EXT).....	120
show file list[(DISK)].....	120
show file md5sum (DISK):(FILENAME)	124
show gps	54
show hostfile	73
show icmpstat.....	16
show log[(COUNT)].....	142
show module	57
show module sim.....	58
show naterr.....	21
show natsession	22
show neterr.....	17
show osslicense	146
show phone	50
show power	177
show pppframe.....	31
show pppstat	31
show product.....	128
show route.....	13
show rsport.....	102
show schedule	156
show syserr	144
show tech-support	127
show template (TEMPLATEID)	155
show time.....	133
show uptime.....	134

show wancounter.....	43
sms command (FLAG).....	44
sms peer (ID) (PHONENUMBER) (RESULT).....	44
sms peer (ID) delete.....	44
sms peer (ID) doctl (DOCTL).....	44
sms peer (ID) notify (EVENT) (EVENTFLAG).....	44
sms send (PHONENUMBER) (BODY).....	46
sms sendlimit (LIMIT).....	44
standby.....	115
syslog ipaddress (SERVER).....	147
syslog option (CATEGORY) (FLAG).....	147
syslog port (PORT).....	147
tcpdwl-server port (PORT).....	67
telnet-server port (PORT).....	63
template (TEMPLATEID) (TEMPLATE).....	154
template (TEMPLATEID) delete.....	154
timezone (TIMEZONE).....	136
vjcompression activate (FLAG).....	40
wancounter reset.....	42
wancounter resetdate (DATE).....	41
wancounter thresh (KBYTES).....	41
wget (URL) [(AUTH) [(DEST) [(COUNT) [(INTERVAL)]]]].....	82
wol retry (COUNT) [(INTERVAL)].....	150
wol send (MACADDRESS) [(DEST) [(PORT)]].....	149
wpost (URL) (AUTH) (DISK):(FILENAME)[,(CONTENTTYPE)][(COUNT) [(INTERVAL)]].....	78
wpost (URL) (AUTH) template:(TEMPLATEID)[,(CONTENTTYPE)][(COUNT) [(INTERVAL)]].....	78
wput (URL) (AUTH) (DISK):(FILENAME)[,(CONTENTTYPE)][(COUNT) [(INTERVAL)]].....	80
wput (URL) (AUTH) template:(TEMPLATEID)[,(CONTENTTYPE)][(COUNT) [(INTERVAL)]].....	80

FutureNet AS-M250/AS-P250 シリーズ コマンドリファレンス Ver. 2.4.0 対応版

2018年2月 改訂番号 18

発行: センチュリー・システムズ株式会社

Copyright (C) 2014-2018 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.
